

平成 2 3 年度

まちづくり懇談会議事録（要約）

目 次

宮 津 公 民 館（横松、萩、宮津）	1
宮津団地老人憩の家（宮津山田、宮津団地、阿久比団地、陽なたの丘）	9
板 山 公 民 館（板山、福住、福住園高台）	13
白 沢 区 民 館（白沢、白沢台、メイツ巽ヶ丘）	20
高 根 台 集 会 所（高根台）	26
草 木 公 民 館（草木）	31
中央公民館本館（坂部、卯之山）	37
勤労福祉センター（阿久比、棕岡）	41
高岡老人憩の家（矢口、高岡）	47
大 古 根 公 民 館（植、大古根）	54

7月1日（金）午後7時～午後9時 宮津公民館（横松、萩、宮津）

出席者数 町側 12人 地区側 31人

町長 あいさつ

阿久比町長3期目の所信を、広報あぐい1月15日号「町長所信表明」の資料を用い述べさせていただくとともに、今年度予算について説明をさせていただく。その後、各地区から事前に出された要望提言事項について回答させていただき、皆様方からのご要望質問などを受けたい。

平成25年に、阿久比町は町制施行60周年を迎える。私たちは、次の世代のことを常に思い、「今」行っておかなければならぬことは「今」成し遂げていかねばならない。そのためには、「融和と調和」の上に成立つ共生の社会実現が望まれていると感じている。これからの自立したまちづくりには、住民と行政がそれぞれの役割と責任を持ち参画と協働し合うことが必要である。そうすれば「人の和」と「地域の輪」が広がり、「強い絆」となっていくものだと思ふ。三期目は、「自然と調和した快適生活空間阿久比」の建設に向けて次に掲げる施策の実現に努力していく。

①健康で生きがいのあるまちづくりとして、主なものとして子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌などのワクチン接種の助成を実施していく。

②子育て支援と教育のまちづくりとして、新保育園の建設、中学三年生までの医療費無料化の継続、授業環境整備としてエアコンの設置、幼保小中一貫教育は、「生きる力」を育てるとともに「学力の向上」にも力を注いでいく。

③安全で安心して快適に暮らせるまちづくりとして、10月1日から循環バスの試行運転に踏み切りたい。新庁舎建設は、防災の拠点となる機能を備えた建物と文化ホールを併設した複合型庁舎の建設に取り掛かりたい。

④自然と共生できるまちづくりとして、次世代に渡していかなければならない「大切な自然」と「水と緑と土」を守っていく。

⑤活力のある発展するまちづくりとして、土地改良事業を推進し、企業用地の確保に努めていく。

⑥住民と行政の協働のまちづくりとして、「町民予算枠」を設け、協働によるまちづくりを目指していく。また、「事業仕分け」を行い、事務事業の見直しを進めていく。

我が国は災害の多い国であり、「安全で安心して暮らせる安定したまちづくり」を基本に、「自然と調和した快適生活空間阿久比」を目指して邁進していく。

配布資料（広報あぐい4月15日号）に基づき今年度の予算について紹介する。予算総額131億9千万円。前年度に比べ1億5千万増となり過去最高額となった。一般会計予算（76億57百万）は、歳入のうち62.2パーセントが自主財源で、37.8パーセントが依存財源となっている。歳出では、民生費38.7パーセント、総務費12.7パーセント、教育費12.5パーセント・・・の順となっている。

予算の主な使いみちとして、一般会計予算のうち総務費、民生費、衛生費、農林水

産業費、商工費、土木費、消防費、教育費などの主要事業について資料をもとに説明する。

続いて、平成２２年国勢調査速報値について説明する。全国平均で高齢化率２３．１％、少子化率１３．２％で少子高齢化社会が進んでいる。単身世帯が３１．２％と独り暮らし世帯が初めてトップとなった。阿久比町では、それぞれ２２．３２％、１４．３２％となっている。

横松、萩、宮津３地区の人口増減、高齢化率、少子化率について紹介する。

提言・要望など

① 東部線西側の横松地区で水量が安定して出ない家庭があり対応をお願いしたい。
(横松)

答) この地域は、小口径の水道管から複数の住宅が水道を引き込んでいるため、使用時間帯によっては、一時的な水量不足が生じていると思われ早急に状況を確認させていただく。

水道管改良工事が必要な場合は、水圧や水量の状況を確認の上、改良方法や実施時期等を検討する。

関連質問 横松地区は水道の末端区域であり口径も７５mmと細くなっている。横松地区の人は不安な気持ちでいる。これから先町はどういった考えを持っているのか。

答) 状況によっては水圧、水量を調査して配管の口径を大きくするなどして、皆さんにご不便をかけないように努めていきたい。

関連質問 神社の西方で消火栓の申請を出している。今の口径だと無理だと思うがどうか。

答) 消火栓設置のためには口径７５mm以上必要である。現状は無いので難しい。八幡社にある防火水槽を有事の際に利用頂きたい。条件等が整えば、要望になるだけ沿うようにしていきたい。

② 英比川流域面積内の状況が変わりつつあり、大雨で河川を越水する恐れがある。ポンプ等で汲み上げることはできないか。(横松)

答) 英比川は十ヶ川へ流れ込む河川となっている。英比川が越水する恐れがある場合は、十ヶ川にある阿久比排水機場のポンプで阿久比川に汲み上げることができる。

関連質問 英比川の流域面積の資料はないか。英比川でその水量が持つのか。除塵機にゴミが溜まり水がはけない。また、除塵機があるところは海拔ゼロmで潮が満ちてくるときははけない。町はどのように考えるか。

答) 除塵機にカメラをつけた。ゴミがたくさんたまると除塵機のモーターでは引き上げることができなくなる。区長さんにはカメラを見ていただき、そうなる前に稼働してもらいゴミを処理していただきたい。どうしてもゴミが溜まってどうにもできないのであれば、その対策を考えなければならない。流域面積については、役場に帰り調べ、区長さんに報告させていただく。越水するかどうかは、東海豪雨以後聞いていない。

関連質問 英比川の水位がどのくらいになると十ヶ川のポンプが稼働するのか。

答) 正確な数字はこの場では言えないが、英比川が越水しないよう水位の基準が作ってあり、それに基づき操作している。

③ 循環バスのルートをハーブ内科まで延長して頂きたい。(横松)

答) ハーブ内科への運行も検討したが、バスを転回させる場所の確保が難しく、限られたダイヤ、バスの台数の中で試行運行計画では見送らせていただいた。試行運行を行いながらルートやダイヤの評価、見直しをしていきたい。

関連質問 乙川や植大まで回っていただくとスーパー等あり使い勝手が良いがどうか。

答) 町外へ出てはいけないとの規制はないが、限られたバス台数やダイヤにより今は無理。今の計画では1ルートあたり所要時間1時間半、1日当たり6往復を計画している。運行状況を見ながら見直しをしていく。

関連質問 バス運行の魅力がなければ使う人もいなくなる。ハーブ内科までならいくらかでもUターンが可能だがどうか。

答) 横松の郷中を回ってこれるのではとのことだが、バスの運行にはいろいろな制限がありできない。その一つとして車両制限令がありバスが通れる道路幅員が定められている。運行に関し改善できるところはしていく。

関連質問 バスの運行コースについて、試行運転後いつ検討するのか。はっきりしてほしい。

答) 具体的にいつというのは決まっていないが、3年間試行運転を行いながら意見をもらい、年に2回3回と改善していく場合もある。

関連質問 どういう時点で見直しを行うのか。

答) 循環バス評価委員会を年数回見込んでいる。その時点での意見やアンケート結果を評価して実施していく。その時点で見直しがあれば行う。

関連質問 横松の人の意見が入ってない。

答) 検討委員会を立ち上げ、町民2千人からアンケートを取った。横松の人の利用が少ない結果であった。3年間の試行運転をしながら改善していきたい。

④ 町道1085号線 月見が丘付近の不法投棄が絶えない。恒久的処置をお願いしたい。(横松)

答) 本来不法投棄されないように、土地所有者が管理すべきと考えている。町としての対策としては、環境監視員によるパトロール、広報等による啓発や立て看板の設置などを行っている。今後より一層パトロールを強化していきたい。

関連質問 半田市の住民から出たごみである。道路を一方通行にしてみたらどうか。

答) 半田市の環境担当へ連絡させてもらう。また、土地所有者へも連絡し対応してもらおうよう伝える。

⑤ 道直しの草の処理に困っている。町でお願いできないか。(萩)

答) 他地区では、土木費補修協力金を使って草の処理を行っている。また、刈り取った草を一期一会荘裏に地区で運搬して頂くような社会実験的なことをしたいと考えているので、建設課に事前連絡してほしい。具体的な話はもう少し煮詰めたと思っている。

⑥ 萩老人憩の家北側排水路に堆積物が多く、町で除去してもらえないか。(萩)

答) 排水路の堆積物を町で除去はできない。地区で堆積物を処理できない場合は、集めた堆積物を一箇所を一時保管して頂ければ後日町で処理させていただく。

関連質問 以前に町で除去してもらったことがある。町の排水路であればやってもら

えると思うが、排水路は一部地区の法人の土地を通っている。土砂は30cmほど溜まり量的にもかなり多い。蚊がわき臭いも出る。あげたものはすぐに片づけてもらえるのか。

答) 他地区でも同様なところがあり、地区でどぶさらえをしてもらっている。集めた堆積物については町で処理させてもらう。

⑦ 町道1066号線の東側斜面の擁壁工事を町でお願いしたい。(萩)

答) この箇所は、勾配が30度以上、5m以上の斜面がある急傾斜地崩壊危険箇所に該当しない。道路の上の土地所有者の管理義務の問題と考えられるので、区長さんから土地所有者にその旨連絡して頂きたい。

⑧ 萩地区には公園がない。老人憩いの家の広場にベンチ設置をお願いしたい。(萩)

答) 町として広場にベンチを設置する考えはない。他地区の広場をみると、家庭でいらなくなった椅子等を持ち寄って利用されている。

関連質問 町にはいくつもの公園があるが、萩には1箇所もない。どういう基準で作っているのか。

答) 区画整理を含めて、宅地開発をした業者によって区域面積に応じ公園面積が決まっている。町内の公園は41か所ある。それ以外に地区が造った、ちびっこ広場的な公園が10箇所ほどある。公園や公民館は各地区にすべて揃っているわけではない。町の体制ではすべて町でやれないので、各地区自前でやっていた部分もある。住民との協働でやっていきたいと思っている。

⑨ いたちだ公園にブランコと滑り台の設置を要望する。(宮津)

答) 宮津特定土地区画整理事業地内には、2箇所の公園がある。1つの公園内に幼児、小中学生それぞれに合った遊具を置くことは面積的に困難な状況である。アンケート調査を踏まえ、さるこ公園には小学生を対象とした遊具を、いたちだ公園には幼児と大人も利用できる遊具を設置した。

⑩ 津波、豪雨による洪水に視点を置いた避難対策について、町としての方向性、検討をお聞かせください。(宮津)

答) 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード

8級と予測され、津波の高さは、名古屋で2.54mと言われている。また、国の中央防災会議は、現在3連動地震の想定見直しを進めている段階である。国・県の防災計画の見直しに続いて愛知県と連絡を密にし、防災計画の見直しを行っていく。想定にこだわらず、まず逃げることを考えて行動して頂きたい。避難経路など地区の状況は地区が良く知っている。本年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施していく。避難場所、経路の確認が決まり次第防災交通課に連絡してほしい。

関連質問 半田港に何mの津波が来たら、ここにどれだけの影響があるかシミュレーションを検討されたことはあるか。

答) 各地区で海拔何mくらいのエリアかの情報はありますが、まだ見直し段階であり、想定にこだわらず、まず安全なところに逃げることを第一に考えていただきたい。

関連質問 防災無線を地区で使う場合、子機ごとの連携はできないか。

答) 地区で行う場合、子機同士の連携はとれないため、手分けして行ってほしい。

関連質問 防災無線の設置個所が宮津に3カ所ある。聞き取りにくいところがあり、青年会場にあるものを宮津公園に移設できないか。

答) 他地区でもそういうところがあり、業者に状況を確認させている。どうしても放送が聞き取りにくい場合は、電話で48-7030にかけ、直近の情報を確認してほしい。

⑪ 自主防災活動の今後のあり方についてお聞かせください。(宮津)

答) 災害の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが災害対応力を高め連携することが大切である。本年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施していきたい。7月23日に自主防災会研修会を開催し、半田市岩滑地区の方に講演を行っていただく。研修会に出席して地区での自主防災会のあり方を再度確認していただき、町との連携を確立していきたい。備蓄等については、自主防災会育成補助金を活用してほしい。

関連質問 災害時に地区からの要請に対し、町からの職員派遣はあるのか。個人情報に関係で、要介護者・要援護者の名前は公表されていない。地区の人に事前に知らせることができなければ安否確認が難しい。各家庭で居場所確認などのための防災カード的なものを用意する必要があるのではないか。

答) 自助・共助・公助。その割合として、阪神淡路大震災の例からすると自助60%、

共助30数パーセント、公助数パーセントの割合となっている。自己の身を守るために逃げる。役場・警察・自衛隊などが来るのには時間がかかるためそのあたりを考えていただきたい。家族での緊急時の対応については、普段から話し合ってほしい。要介護者の安否確認については、研修会も含めて先進的に取り組んでいるところのケースも踏まえ新たな取り組みを見出してほしい。

⑫ オアシス大橋東交差点付近の安全対策について ・南下する東側歩道の拡幅 ・半田方面から交差点に入る場合の左折専用レーンの設置 ・オアシス大橋南側歩道の除草について要望する。(宮津)

答) 東側歩道の幅員については、道路構造令の基準に合うよう計画し、知多建設事務所と半田警察の協議の上で現在の道路形態となっている。町道2138号線の道路改良工事が行われても道路中心線の位置は確定している。左折専用レーンの設置については、以前左折専用レーンがあったが、交通事故が多発したため、半田警察と協議の結果現在の車線形態となった。南側歩道の草刈りについては、知多建設事務所へ強く要望していく。

関連質問 交差点から南下する東側歩道は絞られて狭くなっており、子供が通学するのに危ない。また、床屋から出て来るときに非常に出づらい。それに、半田方面から来る車が右折レーンで渋滞しそれをワープして車が通ろうとする。危険であるため予告としてお伝えする。(要望のみ)

⑬ ごみステーションのカラス除け対策として、カラスネット以上に効果が上がる工夫はないか。(宮津)

答) ごみステーションのごみ散乱防止策としてカラス除けネットにて対応している。6月22日に地元の要望により石下根地内に、金網のごみステーションを設置した。このことにより、カラス等によるごみの散乱はないと思われる。また、蟹田川沿いのごみステーションには、ダストボックスを増設しカラス除けネットの両側にポールを通して張り方を工夫したところ被害の通報はなくなった。地区の方もごみ出しのマナーやごみを均等に出すよう協力いただきたい。なお、ネットが破損した場合は、環境衛生課に申し出ていただければ配布する。ネットの管理が必要となるので、地区の方々の協力をお願いしたい。

関連質問 対応を良くしていただき感謝する。カラスは頭が良くポールの隙間から入ってごみを引っ張り出す。今の金網タイプの容積の大きなものはないか。

答) 容積的にはいろいろのタイプがある。お金の面もあり容赦願いたい。基本的に

はコンクリート製のダストボックスである。石下根の金網タイプはサンプル的なものであり、全ての地区に採用することは考えていない。カラス除けネットに関しては、ポールで固定すると被害が少ないため、町として進めていきたい。

7月4日（月）午後7時～9時 宮津団地老人憩の家（宮津団地、宮津山田、
阿久比団地、陽なたの丘）

出席者数 町側 12人 地区側 51人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 宮津保育園西交差点に信号機の設置を。（宮津団地）

答） 半田警察署へ要望し、平成22年11月に半田署、知多建設事務所、防災交通課、建設課で合同パトロールを実施。現状での信号機設置は困難であるとのことだが、自治会から書面で要望書を提出していただき、半田警察署に要望する。

関連質問 信号設置が困難なら一旦停止、道路のカラー舗装など別の対策も考えてほしい。

答） 公安委員会の案件であるので、町だけでは決められないが、地区から要望書を提出していただき、半田警察署に要望する。町として交通安全に努める。

関連質問 この件を含めて他の質問でも、過去に同じ様な質問、要望が出ているものについて結論が未だ出ていない。具体的に解決するための場を設けてほしい。

答） 関係者の意向も踏まえて設定できそうなものについては検討したい。

② 周辺道路へ出るところにカーブミラーの設置を。（宮津団地）

答） 新設の申請書を建設課へ提出してほしい。現場を確認したうえで、必要な交通安全対策を行う。

③ 宮津団地西側町道にある駐車禁止のポール脚部の除去を。（宮津団地）

答） 駐車禁止用ポールは、路上駐車防止のため、自治会からの要望により設置した。今後も路上駐車を防ぐため、車線分離標の設置は必要と判断している。

④ 宮津団地老人憩の家の補修に町から補助をお願いしたい。（宮津団地）

答) 町立施設大規模修繕等実施要綱に基づく助成金がある。該当するようなら利用いただきたいので保険課へ相談してほしい。

⑤ 町の防災に対する基本指針、災害時への備えで何に留意すべきか。(宮津団地)

答) 防災計画の見直しを行っていくが、想定にこだわらずに、まず逃げることを考えて行動してほしい。地域防災活動が重要となるなか、今年度の防災訓練は各地区単位で考えた訓練を実施予定。食糧備蓄は、最低 3 日、家族人数分の非常食を用意してほしい。

⑥ 宮津山田集会所北側の交差点に信号機の設置を。(宮津山田)

答) ①の回答と同様。

関連 ①と同様、過去に同じ要望を出しているので早急に解決するようにぜひお願いする。(要望のみ)

⑦ 防災無線が聞き取りにくいので改善を。(宮津山田)

答) 点検業者に調査確認を依頼。防災無線で一斉放送した直近情報は、電話(48)7030でも確認できるので利用してもらいたい。

関連質問 確認のため電話が混み合ったときは、話し中にならないのか。

答) 確認する。

関連要望 緊急時には電話で確認することはできない。

答) 防災無線だけでなく、公用車で回るなどその他の対策も講じる。

関連 地区でアンケートをとったので、設置の参考にしてほしい。(要望のみ)

⑧ 宮津保育園交差点の危険防止対策を。(宮津山田)

①、⑥で同趣旨の質問、回答があるため、次に進めてほしい発言有り。次に進む。

⑨ 宮津山田池周辺の防護ネット増設を。(宮津山田)

答) ネットは県ため池改修工事で設置したもので、池の周囲全体に設置したのではない。また、大字宮津地区の草刈り作業の支障になることも想定される。木杭を打ってトラロープを張るような工事ができないか検討する。

関連 町が宮津と調整してほしい。(要望のみ)

⑩ 女夫坂上部道路のガードレールの高さを変更してほしい。(宮津山田)

答) 道路に設置するものは、道路構造令に合致したものを設置する必要がある。ただし、提案箇所は道路南側の高低差が大きい場所なので、もう少し丈の高い防護柵を設置するように検討する。

⑪ 循環バス計画路線から阿久比団地が外れている。阿久比団地西にバス停の設置を。(阿久比団地)

答) 5月に試行運行の委託業者が決定し、現地で試験走行などを行なっている。要望に沿えるようルート及びダイヤの調査・研究を行っている。また、試行運行期間中にもルート、ダイヤの評価を行い、よりよい循環バスとなるように見直しを行なっていく。

関連質問 子どもが独立し、高齢の親だけが残っている世帯も多い。阿久比団地だけを迂回するルートに感じた。一步前進の回答を得たので、よろしくお願いいたします。

答) 運行時間などを考えて今のルートになったが、要望に応えられるよう検討する。

⑫ 平成21年の懇談会では、富士塚公園が避難所として認められないと回答があった。その後どうなったか。

答) 現在避難所になっている。

⑬ 電光掲示板は誰が見るためのものか。

答) 町からの最新の情報を広く町民に発信している。

⑭ 町の節電対策はどうなっているか。

答) 庁内エコアクションプランに基づく対策を行なっている。庁舎の事務室や廊下の照明を間引きし、必要な時間のみ点灯。エアコンの稼働時間を抑え、電光掲示板の

稼働時間も短縮している。

⑮ 今年度から人間ドック、脳ドックを両方受診できなくなった理由は。

答) 広く多くの人に受診してもらうため。

⑯ 阿久比町の基幹水道管の耐震化率はどのくらいか。

答) およそ 14 パーセント。

⑰ 社会福祉協議会が行っているサロン会のような小地域福祉活動に来年度以降予算措置をお願いしたい。(要望のみ)

⑱ 東北大震災では、行政もダメージを受けた。住民が避難所を運営できるような訓練を考えてはどうか。

答) 考え方としては、同じ方向。今年の防災訓練は、去年までのものとは違った訓練にする。

⑲ オアシス大橋西の交差点に歩車分離信号の設置を考えてほしい。

答) 公安委員会と相談する。

⑳ 検討課題の進捗状況を報告する機会はどうなっているか。

答) 区長さん、自治会長さんへ報告する。

7月5日（火）午後7時～午後9時 板山公民館（板山、福住、福住園高台）

出席者数 町側 12人 地区側 23人

町長 あいさつ

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 陽なたの丘団地造成取り付け道路とふれあいの森から来る道路とのT字交差点について一旦停止の文字・標識が設置されていない。（板山）

答） 交差点での一旦停止を促すように、交差点の南側と西側に阿久比町の立て看板を昨年度に設置させて頂いているが、道路への一時停止標識・表示の設置については公安委員会の権限になる。町としても交差点の安全対策として一時停止などの規制は必要と考えているので、地区からの要望書を添付のうえ、半田警察署へ要望していきたい。

関連質問 去年とまったく同じことを言っている。去年の議事録をみると「今年度も要望を出すのを嫌だと言っている訳ではなくて、地元と町で既に協議を進めていて、去年より一歩前進しているというような形にしてほしい」との質問に対して「わかりました」となっている。それにも拘らず今の返答では、全く進歩がないと思うが。

答） 確かに昨年も同様の要望を頂き、同様の答弁をさせて頂いているが、その後、区長名の要望書の提出が無く、町長名での要望書も出せずじまいで、当面の対策として先ほどの看板を立てさせて頂いたと聞いている。お手数をお掛けするが、地区からの要望書を後ろ盾に警察へ上げて行きたいと思うので提出をお願いしたい。

関連質問 出したと聞いているが。

答） 提出が無かったから要望しなかったというのはおかしいと思うかも知れないが、現実には、毎年同じようなことをしなければならないシステムになっている。是非とも要望書の提出をお願いしたい。書き方等についてはお手伝いさせて頂く。現地も確認して来たが、大変危険であることは十分認識しているので、町でやれることはやるが、要望の件については公安委員会の権限なのでよろしくお願いしたい。

② 循環バス試行運転の行き先で近隣市町の施設、病院等までのルートも考えていたきたい。（板山）

答) 住民アンケートの結果からも半田病院への運行を望む意見が寄せられている。しかし、バスの台数に限りがある中で、町外へ運行すると、その分町内へ運行するバスが少なくなってしまうため、当初の試行運行計画では、町の中心を名鉄が縦断しており、鉄道を本町の公共交通体系の軸とし、町外への移動は鉄道によることが相応しいとして、町外への運行は行わない方針で運行計画をまとめている。また、東ヶ丘で東浦町の運行バスに接続することで、刈谷・東浦方面への需要にも出来る限りお答えして行きたいと考えている。今後、試行運行を行いながら、利用者アンケートやヒアリングを実施し、ルート、ダイヤの評価・見直しを実施して行きたい。

アンケートの件数のご質問について、調査委託会社からは算出基準から判断して、当初は4百余りの回答数が得られれば意向は把握できるということであったが、15歳以上人口のおよそ一割である2千人を対象として、1,150人(57.25%)の回収であったのでご理解をお願いしたい。

③ 公民館のセキュリティシステム導入について。(板山)

答) このことについては5月31日の夕方から深夜にかけて町内の公民館・区民館で盗難事件が連続して発生したもので、いずれも通用口や人目に付かない窓ガラスを壊して侵入し、事務所などの金品を盗んだものであった。被害は窓ガラスを始め、施設のドアや机、金庫などの損壊も発生している。板山公民館は西側と南側の窓ガラスが壊されて侵入され、金庫も壊され中の物も盗難にあったと把握している。この時間帯はどの館も無人となっており、無防備な状態であった訳で、対策としては、金品は事務所に置かない、事務所を真っ暗にしない、施設などに保険を掛けるなどの対策が考えられる。町としても、町立公民館・区民館を含め、防犯装置が設置されていない公共施設等についてどのような防犯体制が良いか検討したい。

④ 陽なたの丘からのアクセス道路(都市計画道路)の現況について。(板山)

答) この件については、昨年、宮津地区の土地改良事業の進捗に合わせて計画を進めて行きたい旨の回答をさせて頂いたが、6月11日に第1回の土地改良事業に係る地主説明会を開催した。町としては、現在このように準備をすすめており、土地改良事業の面整備と併せて、矢高横川線の道路整備を考えている。

しかし、陽なたの丘と西尾知多線を結ぶ道路整備については、面整備をせずに道路用地買収を行うことになるので、道路用地に係る地権者と隣地地権者との関係、道路用地と隣地の高低差による法面問題など克服する課題がある点をご承知願いたい。

決して忘れているとかやらないということではなく、町としては宮津地区の土地改良事業の進捗に合わせて計画を進めて行きたいという考えは昨年と変わっていない。

⑤ ゴミステーションのカラス(猫)の被害について。金網の檻などの設置を(板山)

答) 現在町では、基本的にコンクリート製のダストボックスのゴミステーションを利用しているので、ご要望の金網のゴミステーションを設けることは、現在のところ考えていない。

また、散乱防止策としては、カラスよけネットを掛けている。先日、他の地区（宮津地区）においてカラスよけネットの両縁にのぼり旗で使用しているポールを入れたところ、現在までにカラスの被害の通報は無くなった。そこで、この固定方法について環境衛生課職員が指導させて頂くので、お申出頂きたい。また、カラスよけネットが破損した場合は、環境衛生課まで、申し出て頂ければ配布させて頂く。いずれにしても、ネットの管理（固定）は必要となるので、区長さん始め地域住民の方々のご協力を是非お願いしたい。

関連質問 カラスよけネットはサイズが一種類と聞いているが、サイズ（大きいもの）を増やす考えはないか。（福住園）

答) コンクリート製のダストボックスの大きさに合わせて作っているので、現状では一種類しかないが、この件は持ち帰り担当と協議する。

関連質問 先ほどの回答だと、カラスよけネットを掛ける前提で話をされているが、実際に被害が出て、区民の方が毎回重石等を乗せたりどけたりして工夫している。毎回だとやる人とやらない人も出てくる状況もあり、それをネットのままで良いじゃないかと放置するような対応はいかなものかと思うが。（板山）

答) あまり固定するとゴミを入れにくいし、重すぎてもネットを上げ辛い。そこで、私も現場で立ち会ったが、先ほど申し上げたポールを入れたやり方であれば、そんなに重くなく、まあ入れやすいし、それ以降被害も無くなったということで推奨させて頂いた。住民の方のある程度のご協力をお願いしたいと思う。

関連質問 最近ゴミの出し方を見ていると、皆さん奥へ積むのではなく、前へ置いていってしまう。これではネットを掛けてもゴミは溢れてしまい、住民の側にも問題はある。そうは言っても、ネットが小さいとか色々問題はあると思うので、町の方で全体の現状確認等の総点検をしてもらって、その上でどんな道具が良いかなど今後の方向性をまとめて早急に町民に知らせてほしい。そうすれば問題は解決するのではないか。（福住）

答) 一度持ち帰り協議する。

⑥ 英比小学校の緊急避難所について。福山川の増水オーバーフロー時に危険ではな

いか。(福住)

答) 今年3月に皆様に配布させて頂いた「阿久比町防災マップ」の中に洪水ハザードマップのページがあり、こちらで確認して頂くと、阿久比川・十ヶ川流域の浸水予想としては、英比小学校付近では50 cm～2 mほどの浸水予想区域となっているため、英比小学校は水害が予想される時の避難所にはなっていないのでご承知頂きたい。

⑦ 新保育園建設後の英保育園跡地の使用方法を町としてどのように考えているか。(福住)

答) 英保育園は、昭和45年に現在の場所に開園した。敷地面積は4,946 m²で、そのうち約85%に当たる4,214 m²を大字福住から借地させて頂いている。

ご質問の英保育園跡地利用方法については、現時点では決まっていない。協議が必要な時期が来たら、関係者の方々と協議したいと考えているのでご理解頂きたい。

関連質問 いつ頃か。

答) 今は保育所の建設の方で用地買収や許認可申請等に追われている状況で、跡地利用についてはまだ先になると思う。

⑧ 大震災発生時の津波による避難場所を町として明確にして欲しい。(福住)

答) 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード8級と予測され、津波の高さは、名古屋で2.54mと言われている。また、国の中央防災会議は、現在3連動地震の想定見直しを進めている段階である。国・県の防災計画の見直しに続いて愛知県と連絡を密にし、防災計画の見直しを行っていく。想定にこだわらず、「まず逃げる」ことを考えて行動して頂きたい。

また、避難経路など地区の状況は役場職員よりも地区の皆様方がよく現地を知っている。本年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施して頂きたい。7月23日に自主防災会研修会を開催し、半田市岩滑地区の方に講演を行っていただく。研修会に出席して地区での自主防災会のあり方を再度確認して頂き、町との連携を確立して行きたい。

関連質問 一つの案として、避難場所を英保育園の跡地ということで考えてはどうか。そうすれば、跡地の整備もどうすれば良いのか、自ずと方向性が出て来るのではないかと思う。検討材料としてもらえるよう要望する。(福住)

答) 先ほども申し上げたが、英比小学校は水害が予想される時の避難所にはなっ

いない。提案頂いた英保育園は高台になっているので、水害についての心配はないだろうと思われる。したがって、そういう所を避難場所として考えて行くことは有効なことだと思うので検討して行きたい。

⑨ 防災池管理について。池の水位については大雨情報・町防災課の指示において池係がバルブの開閉を行っているが、設備の管理については担当が不明確ではないか。(福住)

答) 町内の農業用のため池管理は、水利権等も含め、町産業課が窓口となって行っている。防災用のため池管理は、町防災交通課が窓口となって、水位調整の連絡や草刈活動等をお願いしているという状況で、農業用のため池と防災用のため池が重なっている状況は現実問題としてある。なお、防災ため池の設備管理については、産業課で行う。

関連質問 具体的には福住の南池の話だが、片歯車でハンドルが付いていて開閉するようになっていると思うが、グリスアップ等の設備点検を町の方でやっているのか聞きたい。先日の大雨の時に情報をもらって開けに行ったが、作動しなかった。丁度業者が近くに居たので蓋を取ってみたら、サビだらけで保守点検をやっていないのではないかと言われた。緊急時に使用できないような設備ではどうにもならないので、要望として年に1回くらいは設備点検をしてほしい。(福住)

答) 早急に現状を確認したいので、防災交通課と連絡を取って頂き、その後の対応を協議したい。

関連質問 この問題は、福住だけではなく他の地区でも有り得ることだと思うが、町として保守点検をやっているということではないのか。(福住)

答) 今回の件については緊急を要するので、町の方で確認させて頂くが、基本的には維持管理は管理者(大字等)の方でお願いしたい。

また、4月の行政協力員会の際に、防災ため池管理補助金についてのお知らせをさせて頂いたが、草刈費用と水位調整費用ということで補助をさせて頂いている。先ほどの質問のような場合は、阿久比町防災施設管理要綱というものがあり、その中で町は管理者(大字等)と協議して改修に努めていくと書いてあるので、よく現状を確認し改修に努めて行きたい。

関連質問 池の周囲のフェンス管理はどちらになるのか。

答) 池については古くからのいきさつがあり、基本的には阿久比町では大字又は個

人の所有となっており、町所有の池は無い。したがって、管理についても大字等によって頂くことになる。元々は利水のための目的であったが、愛知用水が出来たことにより、治水目的に変わりつつある。池の下流を守るため、町では13の池を防災ため池に指定し、水位調整等の管理をして頂いている。

この地域には、昔からの池が多数ある。近年になって住宅が池の近くにも出来てきて、安全対策としてフェンス等の管理をどうするかということであるが、これに対しては全部町がやるとか全部大字がやるということではなく、それぞれの池ごとに特質や事情もあるので、個々に大字と町が協議して決める時期に来ていると考えている。

なお、大きな池の堤防や余水吐の改修といったような大規模な工事については、町と県とで協議して進めて行きたいと考えている。

⑩ 三園統合保育園新設について。「こども園」にした方が良いのでは。(福住)

答) 認定こども園は、就学前の子どもに幼児教育と保育を一体的に提供するもので、地域の子育て支援ができる施設を県が認定し、保育園の待機児童の解消を目的として取り組むもので、町内には現在待機児童はなく、また昨年度英比小学校区の代表や行政協力員、3保育園の保護者代表などで組織する新保育所基本計画策定委員会で新保育所の機能や規模、保育サービスなどを基本計画書にまとめた。

今後、この基本計画に沿った保育所整備を進めていく方針で、認定こども園とする考えはない。

⑪ 福住園高台地区の下水道への切替えをお願いしたい。(福住園高台)

答) 福住園高台に公共下水道を町が行うことはできない。その理由は、福住園高台地区が市街化調整区域である点が大きな要因で、また、全農サイロ寮跡地開発による宅地分譲地のように、同じ団地の中で合併処理浄化槽を設置している区域もある。

このため、公共下水道への接続については、工事費負担等について、集中浄化槽を利用してみえる方の全員同意が必要となるので、現在の排水管の復旧費用も含めた検討委員会等の組織化をお願いしたい。

関連質問 調整区域だからダメだというのはよく承知しているが、この地区は230世帯あるわけで、一団の土地という形で考えて、下水道へ接続する方法は考えられないものかというのがまず一点。

検討委員会等の組織化をという話だが、我々も決して負担金を出したくないと言っている訳ではない。組織化しても我々にどれくらいの能力があるのか判らない。どれほどの費用が掛かるのかとか、どんな工事をしたら良いのかなど分からない訳で、そういうことを指導してもらえないかというのも一つある。

他市町では調整区域でもやっていると調査の中で出ているということになると、何

か検討してもらえないかというのが要望である。(福住園高台)

答) 公共下水道の中に調整区域の分を入れている所は無い。

関連質問 それはよく承知している。大震災等が起こって下水が流れなくなってしまうとすると生活出来なくなってしまう。何が何でも下水道につなげてほしいと言っている訳じゃなくて、合併浄化槽にするとしたらどうすればいいのか、個々に浄化槽を入れればいいのかと言われるかも知れないが、そうなれば皆さん家を建て替えなければならなくなるからそれも厳しい。集中浄化の形で合併浄化槽にするにはどんな方法があるのか、浄化槽はどこへ設置すれば効率的か、費用はどれだけ必要なのかなどの相談に乗ってほしいというのが要望だ。(福住園高台)

答) 技術的な問題であれば、上下水道課へ相談して頂ければ良いかと思う。ただ、下水道へ接続するのは、下水道の検討委員会でも答申を出している。市街化区域にお住まいの方は、ずっと都市計画税も払われている。そういう費用的な問題もあり、接続は出来ないのご理解をお願いしたい。

関連質問 町長は「安全・安心なまち」をうたっている。行政がある程度指導してくれないと我々だけでは「安全・安心なまち」は創れない。自治会だけでやれと言うのか、一緒になって考えようと言ってもらえるのか、実は今回そこが一番聞きたかった。「安全・安心なまち」をよろしくをお願いしたい。(福住園高台 要望のみ)

⑫ 申田池西側道路について拡幅等の整備をお願いしたい。また、申田池を埋め立てて公園としての整備を検討いただきたい。(福住園高台)

答) この道路の拡幅については以前、福住園高台自治会より要望があったので、大字福住さんへ町より依頼をさせて頂いた。大字福住としては、地元の意見集約をしておくと伺っている。町としては、大字福住さんからの意向を確認したうえで前向きに検討していきたいと考えているのご理解頂きたい。

申田池は、大字福住の池なので、直接大字福住と申田池の埋立てや跡地利用について協議をお願いしたい。

7月6日（水）午後7時～午後9時 白沢区民館（白沢、白沢台、メイツ巽ヶ丘）
出席者数 町側 12人 地区側 33人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 東海地震を想定して今後の防災マップの見直しを考えているか。あらゆる災害に対して現在の区民館の避難場所は適当か。（白沢）

答） 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード8.0級と予測され、津波の高さは、名古屋で2.54メートルと言われている。また、国の中央防災会議では、現在3連動（東海・東南海・南海）地震の想定見直しを進めている段階である。

愛知県防災計画と阿久比町防災計画は連動させてあるので、国・県の見直しに続いて見直しを行うが、想定にこだわらずにまず逃げることを考えて行動していただきたい。

また、避難経路など地区の状況については、役場職員よりも地域の方のほうがよく現状を知っていると思うので、今年度の防災訓練については各地区単位で考えた訓練を実施していただきたいと考えている。7月23日の土曜日に自主防災会研修会を開催して、地域防災活動に積極的に取り組んでいる半田市岩滑地区の方に活動報告として約1時間の講演を行っていただく予定である。研修会に出席していただき地区での自主防災会のあり方を再度認識していただき、町との連携を確立していきたいと考えている。

防災マップについては、今後等高線を表示したものを取り入れていきたいと考えている。

白沢区民館については、平成19年度に耐震補強工事を終了しているので、現段階では避難場所として適当であると考えている。

② 北原保育園の移転は震災により延びる可能性があるか。移転後の空き地の活用はどうするのか。移転することで保育料はどうなるのか。（白沢）

答） 北原保育園の東日本大震災の影響による移転延期は考えていない。平成25年4月を新保育園開園予定として準備を進めている。

北原保育園跡地利用については、現時点では決まっていない。協議が必要な時期が来たら関係者と協議したいと考えている。

保育料については、新保育園建設に伴う値上げは考えていない。

③ 阿久比町の税金を近隣各市町村と比較し、数字で示して欲しい。(白沢)

答) 町民税について、収入、家族構成などが同じであれば、所得控除も税率も同じとなるため、税額は同額となる。市町村間で変わることはない。

④ 岡戸組より北方面に出た町道 2 2 3 3 号線 T 字路での見通しが悪いので、一旦停止線とミラーの設置をお願いしたい。(白沢)

答) 一旦停止の注意喚起のための白線とミラーの設置についての要望は、建設課に区長名で申請書を提出してほしい。ミラーの設置については他の要望もあるため、必要度の高い箇所から設置を検討していく。

⑤ 町道 2 2 2 5 号線の道路幅が狭く歩行者が危ないため、U 字溝に蓋をかぶせることにより、歩行者が逃れられるようにしてほしい。(白沢)

答) もともと公団上水路敷が広く道路敷が狭かったものを、無理に道路敷を広げ水路敷を狭くした箇所であり、上流部の福住の馬越池からの水が絶えず流れているため、大雨が降ると U 字溝を乗り越えることがたびたび発生している。このため蓋付側溝工事を行うと、水圧により側溝の蓋が移動する危険も考えられ、また隣接の田からの水の流れ込みもできなくなるため、現状を維持していきたいと考えている。

⑥ 白沢台入口から知多中央道高架下までの歩道・車道への竹や立木の倒れ込みがある。個人の所有地であるので、町で立木特に高木の剪定を行ってほしい。(白沢台)

答) 道路には、道路法第 30 条第 1 項第 1 号により、道路の建築限界に関する技術基準が、また道路構造令第 12 条には、車道高 4.5 メートルの建築限界が規定されている。

現場は、知多半島道路から白沢台へ向かう町道のすぐ南側の立木が道路へはみ出ししており、通行へ支障があるため、地主へ立木の伐採をしてもらうよう 6 月 20 日付けで書面にて通知したところである。

⑦ 市街化調整区域の下水道整備について、下水道事業検討委員会での報告と、町の見解を聞かせてほしい。(白沢台)

答) 下水道事業検討委員会からの、4 項目の提言については次のとおりである。

- 1 市街化調整区域内の汚水処理については、合併浄化槽の設置を推進されたい。
- 2 合併浄化槽設置に対する補助制度の拡充を検討するとともに、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えについての啓発を強化されたい。

3 公共下水道管に接続できる市街化調整区域の家屋は、区域外流入を認められたい。ただし、市街化区域との公平性を考慮した費用負担を求めるものとされたい。

4 市街化調整区域から市街化区域への編入があった場合には、公共下水道事業を適切に実施されたい。

町としても、下水道事業検討委員会からの提言と同じ考え方で、今後の事業推進を図っていく考えである。

⑧ 白沢台方面から県道への出入口に信号機の設置を強く要望する。平成7年から毎年設置に対する要望書を提出しているが、設置に向けた具体策を示されたい。(白沢台)

答) この件については、相当以前から半田警察署に要望している。

平成22年11月に半田警察署・知多建設事務所・防災交通課・建設課による合同パトロールを実施した。現地確認の結果については、昨年も回答したとおり変則5差路の交差点であることが一番の問題である。また阿久比川沿いから出てくる道路の角度が鋭角であり、対向車が見えづらく危険である。例えば信号機を設置できたとしても県道名古屋半田線には右折レーンがなく、右折時に渋滞が発生する恐れがある。道路を拡幅して右折レーンを設けることや、5差路解消のため1つを歩行者専用の通路とするなど、信号機の設置には大規模な道路改良工事が必要となるため、現段階では信号機を設置することは非常に困難である。

関連質問 学童の通学路になっているので、早急に対応してほしい。毎年出ている問題である。

答) 構造的な問題を解消しないと設置が非常に困難。右折レーンの設置についても用地が無い。重々検討しなくてはならない。

関連質問 毎年要望書を提出している。昨年のまちづくり懇談会の回答では、白沢地区と相談して連名で要望書を提出してほしいとのことだったが、今年度も要望書を提出する必要があるのか。行政に依頼する場合、要望書を提出するのと署名を集めるのとでは、どちらが効果があるのか。

答) 町としては地域の代表者の連名で要望書を提出してほしい。それを基に、町としては警察署のほうに粘り強く要望していきたい。

関連要望 説明するのに口頭だけでなくプロジェクターなどを使い、目でも分かるように改善すべきではないか。

答) 次回から改善していきたい。

⑨ 卯坂交差点に歩行者用信号機の設置を要望する。北進、南進によるシグナルに違いがあり歩行者は渡るタイミングが困難であり、特に高齢者は危険である。(白沢台)

答) 半田警察署に確認したところ、歩行者用信号機の設置を要望するためには、交通量調査(人と車)が必要とのことだったので、懇談会での要望とは別に地区から要望書を提出してほしい。それにより町で交通量調査をした上で、半田警察署に要望書を提出したい。

⑩ 健康づくりのためにウォーキングは効果があるが、夜のウォーキングは歩道が少なく、防犯灯が少ないため不安である。モデルウォーキングコースの整備を要望する。(白沢台)

答) 第5次阿久比町総合計画では、スポーツ村の活用と周辺の整備として、ウォーキングコースの設定を位置付けているので今後検討していきたい。

現段階では、夜間のウォーキング時には、防犯灯などのある比較的明るい団地内を、反射材などを付けて、交通安全に心掛け、グループで行っていただきたい。また、防犯活動腕章を付ければ自主防犯活動にもなる。

関連質問 LED防犯灯の設置についての計画があれば教えてほしい。

答) 今年度から新設するものと、機器の故障により取り替えるものは全てLEDの防犯灯とする。

関連質問 新設場所の審査は済んだのか。

答) 審査済みである。要望が31カ所あったが、1カ所については私有地を明るくするようなものだったので取り下げてもらい、要望があった30カ所全て設置する。

⑪ 最近ふれあいサロンという言葉をよく聞く。全国的に社会福祉協議会が中心となっていて行っている。阿久比町では現在、社会福祉協議会がテスト形式として2カ所で行っているが、他に比べて少し立ち遅れている気がする。予算を計上するなど、町をあげて進めてほしい。(メイツ巽ヶ丘)

答) 現在、白沢台と宮津団地の2カ所と、今年から大古根でも行っている。町としては町全体に広げたいと考えており、社会福祉協議会と連携して進めていきたい。

関連質問 50人以上の高齢者団体の町が認める場合は補助制度がある。メイツ巽ヶ丘は65歳以上が34人しかいないので該当しない。基準を地域の実情に合うように

してほしい。(メイツ巽ヶ丘)

答) 補助制度は60歳以上の人数が基準となり、現在メイツ巽ヶ丘に60歳以上の方が何人いるか調べて回答する。また、50人に達しない地域の対応について検討する。

⑫ 阿久比中学校にエアコンを付けるとのことだが、エアコンだけでなく省エネやエコなど、他の方法で教育環境をよくすることは考えなかったか。(白沢)

答) グリーンカーテンを設置し、窓を開け放つことなども検討してきたが、校舎が鉄筋であり木造に比べ効果が少ない。また教室にはたくさんの生徒がいるため暑くなる。長い間集中して授業を受けるには、エアコンが現段階では最善と考え設置する。機種としては当然省エネタイプを選択するが、既存の扇風機を効果的に活用し、節約していきたいと考えている。

関連質問 屋上緑化は考えていないか。(白沢)

答) 現在の校舎は古いため、雨漏り対策で精一杯である。

⑬ 今の世の中は甘えが多い。行政に対する甘え、国に対する甘えなど。循環バスの運行を始めるようだが、現在行っているタクシー券の助成など、一見優しそうだがそういう甘えが日本全体を覆っている。個人が自主独立していかないと、国の借金もますます増え、結局は若い世代に引き継がれていってしまう。

答) 循環バスについては、3年間の試行運行でしっかりデータを取り、継続するかの判断をしたい。

⑭ 阿久比中学校の「桜坂のたより」を読んでとても感動した。集団活動、課外活動などとてもいい経験である。しかし、今の子ども達は恵まれている分やぐい。物を大切にする気持ちも少ない。大人になったときにどうなってしまうのか。(メイツ巽ヶ丘)

答) 日本は経済的に豊かになったが、消費を美とするように日本経済が発展してしまったことが大きな原因である。阿久比町の教育としては、0歳から15歳までの教育を徹底していきたい。部活動でも鍛えられるところは鍛えていき、強くたくましい子どもを育てていきたい。特に0歳から10歳までは本当に親の責任であると思う。何をするにも親の姿を見せなければならない。10歳からは独り立ちできるようにし、親離れ、子離れしていかななくてはならない。実現はなかなか難しいが、ぜひこの話題が出たこの地区から風を起こし、町全体へ広げるようお願いしたい。

関連質問 この地区から中学校まで遠いが部活動で早い時間も毎日自転車で通った。始めは子どもにこんなきついことを思うこともあったが、卒業まで続けることで子どものためになったと思う。中学生までは義務教育だからというわけではないが、ある程度厳しくしていく必要があると思う。エアコンはいらないのではないのか。全国の公立学校では、設置しているほうが多いのか。(メイツ巽ヶ丘)

答) 全国より先に進んでいる。文部科学省の方針では、校舎の耐震化が終われば空調整備へ移行するため、早めに実施している。

⑮ 先日安全安心大会に参加した。英比地区と南部地区で自転車や車の盗難が多いとあったが、具体的にどこで発生しているのかを示し、どう注意したらよいか教えてほしい。(メイツ巽ヶ丘)

答) 自転車盗については、駅周辺やスーパーなどで多く発生している。警察のほうからは、防犯カメラを設置してはどうかという意見もある。現在知多半島のうち、市では設置しているところもあるが、町では未設置である。犯罪の情報については提供できるデータなどがあれば公表していきたい。

⑯ 巽ヶ丘駅の北側の細い踏切が非常に危険な状態である。右折禁止の時間帯でも右折する車もいる。要望書を提出してほしいといわれるが、早急に他市町と協議して改善してほしい。(白沢)

答) 先日の議会の一般質問でも回答したが、現状を知多市に伝えた。また、名鉄が高架になる計画がある。

要望のみ 阿久比町で観光協会が立ち上がったとあるが、大府市では市の推奨品として職員が出掛ける際には持って行きPRしている。阿久比町も力を入れてほしい。

⑰ 庁舎建設の進捗状況と、ホールの規模はどれぐらいか。(メイツ巽ヶ丘)

答) 現在、内部で検討委員会を設置し、先進庁舎の視察などを予定している。現段階では具体的な規模、予算は決まっていない。目標としては4年後ぐらいの完成を目指す。また、今は内部検討委員会だが、近々外部の検討委員会を立ち上げる。住民の方からも委員を公募する予定をしている。

(町長私案) ホールについては、400～500人ぐらいの規模で建設したい。避難所として活用することも踏まえ、固定式の席ではなく可動式の席でと考えている。座席は可動式にするが音響などではできる限りこだわっていきたい。耐震などの地震対策や、どれだけの防災機能を持たせるのかが、今後の重要な課題である。

7月8日（金）午後7時～午後9時 高根台集会所（高根台）

出席者数 町側 12人 地区側44人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 1. 防災計画の見直しについて。町の防災計画で見直しする点はあるか。（高根台）

答） 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード8.0級と予測され、津波の高さは、名古屋で2.54メートルと言われている。

また、国の中央防災会議は、現在3連動（東海・東南海・南海）地震の想定見直しを進めている段階である。

愛知県防災計画と阿久比町防災計画は、連動させていますので、国・県の見直しに続いて愛知県と連絡を密にし、防災計画の見直しを行っていく。

災害の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが、災害対応力を高め、連携することが大切である。

地域防災活動の重要性が認識される中、本年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施していただきたいと考えている。つきましては、7月23日の土曜日に自主防災会研修会を開催し、地域防災活動に積極的に取り組んでいる半田市岩滑地区の方に活動報告として約1時間の講演を行っていただく予定。研修会に出席して地区での自主防災会のありかたを再度確認していただき、阿久比町との連携を確立していきたい。

② 震災による給水管破損時の給水対策について。バックアップ対応はどのように進んだか。（高根台）

答） 震災発生時の飲料水確保対策については、平成23年7月1日付けで、東浦町と災害時における相互応援給水に関する協定書を締結した。

協定書は、東浦町と阿久比町が災害時等において、それぞれの給水活動に支障のない範囲内で、相互に応援給水を行うためのもので、給水の依頼方法や、接続管の使用手続き等を定めている。

また、震災発生時、井戸水の利用方法については、町内409世帯（昭和61年12月調査時点）の現在の井戸水利用方法について調査確認中である。

関連質問）災害時の水を大変心配している。予算は厳しいと思うが、井戸を掘ってもられないか。地区でも水の確保を考えているが、もう一度水の確保を考えて欲しい。

答) 飲料水の確保については、東浦町との協定を結び対策をしてきた。昨年もお答えしたが、井戸を掘る予定はない。また、アピタが昨年井戸を掘ったので、災害時には、供給してもらえようように話を進めている。災害時にはその水を含め給水をするが、広報等防災計画で、災害時に備え各家庭に 3 日間の水の確保をお願いしている。それを超える部分を町が補う対策に努力してきたが、地震に備えて是非、各家庭で水を確保して欲しい。3 日目以降には必ず、給水する。

関連質問) 災害時の仮設住宅は。

答) 高根台中央公園が建設候補地になっている。

関連) 先日、東浦町は災害時の水道等の供給体制などについて地元説明会を行い、盛んな質疑がされたと聞くので、阿久比町も出張説明会を行なってほしい。(要望)

③ 昨年回答いただいた災害対応トイレの工事は、何月に着工するか。(高根台)

答) 高根台中央公園の災害対応トイレの工事については、本年、12 月頃に着工する予定である。

関連質問) 災害対応トイレのイメージが分からない。工事はどこまでのものか。

答) 工事は、下水管を引き込み、地面に蓋を設置する配管工事であり、災害トイレの便座やテントなどは、自主防災会で装備・管理をお願いします。

関連) 災害対応トイレを紹介してください。(要望のみ)

④ 都市計画道路について。県に対する町の方策はどうなったか。(高根台)

答) 昨年度も同様の要望があったが、県へ要望活動を引き続き行なっていく。現在、東海市から東浦町地内の県道知多刈谷線の接続部分付近まで工事が進められている。この工事が完了すると、その後、南下して東浦町区域から阿久比町区域へと進めていくとの連絡をうけている。県は、着実に工事を進めているが、阿久比町区域内まで進めてくるには、まだ 4～5 年にかかるとの話があった。東浦町と一緒に県へ要望していくので、ご理解をお願いしたい。

⑤ コミュニティ向上や災害時のため高根台地区にも宅老所や憩の家を開設してほしい。(高根台)

答) 宅老所は各学区に1か所の計4か所(宮津、草木、福住、南部)あり、運営は、各ボランティア団体により行っている。

また、老人憩の家は、現在7か所(阿久比、福住、高岡、萩、卯之山、宮津団地、草木)開設しており、現在のところ増設する計画はない。

しかし、社会福祉協議会において、地域密着型の事業として「小地域福祉活動(サロン活動)調査研究事業」を平成22年度、23年度の2年間で調査研究を行っている。

この事業は、地域の中で身近な問題を解決できるような「新たな地域での支え合い」を目的とするもので、平成22年度は、「白沢台地区」と「宮津団地地区」の2か所をモデル地区とし、この4月から「大古根地区」においても調査研究することとなり、一人暮らしや家の中に閉じこもりがちな高齢者等と地域住民(ボランティアさん)の方々が、近くの公民館や集会所等に集い、ふれあいを通じて生きがいをづくりや仲間づくりの輪を広げることや地域の方々とのつながりをつくる居場所づくりを目指している。

今後は、この調査研究事業の成果を踏まえ、町内各地区に推進していきたいと考えている。

関連質問) 高根台は高齢化率も高く、現在、民生委員を中心に、ボランティアで宅老事業を行っているが大変である。宅老所の増設を要望するもので、高根台にも補助して欲しい。

答) 宅老所は、小学校区一箇所として平等・公平を考えてきた。参加者数も様々で、宅老所運営のボランティアは大変である。今後は、サロンを積極的に進めたいと考えているが、これには補助金はないので、協働として現在研究中の町長の公約事業、住民税1%予算枠などの活用を研究して、協働を進めていきたい。

⑥ 合併の話は怎么样了。

答) 本町は住民投票も行なったが、5市5町で合併の話はない。知多半島62万人は1つにと提案したが、他の首長からは合併は終わったと言われている。

知事は、中京都構想を掲げているがどのようになるか分からない。大きな費用増になる東三河県庁をつくり、三河に力を入れているので、5市5町もしっかりしないといけないのではないかと話をしている。

長良川河口堰の開門問題にしても、水道に大府市以外は海水が入ってくるので、木曾川の水に切り替える等、陳情・要望を県にしている。合併はなくても知多は1つにまとまろうと話をしている。

⑦ 高根台には関係ないと思うが、地震対策として、避難ビル、タワーの検討は。

答) 今回の防災訓練が、まさにその対応を考えたものである。地域の方が自ら考えて避難訓練を行なうもので、高台やビルなど避難場所を考え、避難する訓練を行なう。本町の場合、津波よりも急傾斜地の土砂崩れが心配である。

⑧ 町ホームページの情報が古いので、最新の情報を載せてほしい。(要望)

答) 注意して更新するように指示しているが、調べて早急に対応する。

⑨ 国勢調査のデータ開示は。

答) 現在届いているのは、速報値であり市町村別の人口・世帯数と伸び率程度である。総務省のホームページに出ている。

⑩ 循環バスについては、感謝するとともに運行を楽しみにしている。高齢化も進んでいるので皆が元気に暮らせるよう、誘いながら進んで使いたいと思っている。福祉活動として 10 数年、民生委員を中心に自分もボランティアで宅老事業をしているが、年齢的にきつい。引き続き活動してくれる方をさがしている。町からの補助もなく、ボランティアのみんなも参加者同様に会費を払い月 2 回開いているが、潰したくないので、サロンを広め、町の方も積極的に進めて欲しい。

町広報を楽しみに読めるようなものにして欲しい。年を取ると見難い。高齢者に優しい、字の大きさや配色など工夫して欲しい。(要望)

答) 循環バスは、阿久比駅を基点に約 90 分の 2 系統である。担当は大変苦勞してルート設定をし、東浦町の「うらら」との接続なども調整していた。とにかく走ってみたいと分からないので、乗車データを取り便利になるように検討していく。無料なので乗ってほしい。

ボランティア活動は大変と思うが、行政の出来ない部分を地域の方と協力しあい一緒に進めていきたい。広報は数年ぶりに担当も代わり皆さんに読んで頂ける様一生懸命取り組んでいる。

⑪ 電光掲示板の設置目的は、見える場所へ、画面が小さい、反響、経費、時間、内容は。

答) 反響は大変多く様々で批判も多くあった。町制 50 周年の時、町民から設置要望の声があったがランニングコストが高くやめた。その後 LED ができ、コスト減により町制 55 周年に設置した。設置場所は道沿いのオアシスタを考えたが、横文字表示と台風など風から守るため現場所になったが、見難いと反省もしている。画面の大きさは、大きくしたいが費用が掛かる。

掲示内容は、緊急情報や、警察などからの交通・防犯情報も流している。県大会など子ども達の名前が流れることを大変喜ばれる方もみえる。昨年の表示件数は 292 件、内 54 件は緊急情報。昨年度の経費は、年間 198,000 円。21 年度までは、時事通信のニュース配信料の年間 252,000 円も支出していたが取りやめた。

掲示時間は、Am7:00～PM9:00 であるが、震災の為 3 月 14 日から Am7:00～PM7:00、さらに節電で 6 月 22 日からは Pm2:00～PM4:00 も消灯している。

ふるさと納税を電光掲示板に使用してくださいと、毎年 50 万円を 3 年行って下さっている方もいる。

⑫ 住宅に近接した町有地の雑木が出ているので対応をお願いしたい。

答) 一度、場所の状況確認をしたいので、建設課へ連絡してください。

⑬ 消火栓のホース箱が、地区内で 4 箇所あるが、初期消火の重要性から増設して欲しい。

答) 4 月 15 日の行政協力員会でお願いしたところだが、年間 10 個の予算で、現在のところ 6 個要望がきている。まだ枠があるので、設置場所を自治会のほうで確保して、要望を防災交通課へ出してほしい。

7月11日（月）午後7時～午後9時 草木公民館（草木）

出席者数 町側 12人 地区側 21人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 平井林池埋立地の公園化を引き続き要望する。桜公園として区民の憩いの場としたい。池の堤には花菖蒲等を植え、池にはスイレン等を植え水の浄化に努める。

答） 平井林池埋立地については、昨年もお答えさせていただいた。平成17年度の都市計画マスタープランには、地区の皆様の意向により、草木川の親水空間整備を行い、正盛院の南、草木川沿いを都市公園の整備地区と定めている。

その後、平成21年7月には、地区より平井林池周辺を公園整備してほしいとの要望があった。しかし、池を埋め立てたことにより、調整池としての機能を見守る必要があり、都市計画マスタープランとの整合性を図る必要もあるので、すぐには公園化することはできない。

関連質問 周辺住民からは、公園ではないのかとの苦情がある。現在はヒマワリの種を蒔き、花を増やしていくことを、字の有志にお願いしている。住民の手でやっていく場合、花の種代、肥料代の補助はできないのか。

答） 田んぼの景観整備の為に種は産業課での補助がある。この埋め立て問題については町と地区の食い違いが始まり。町的意思決定がされないまま事が進んでいる。町が公園化をすることは、今の段階ではできないので、現状のままでお願いしたい。

② 新庁舎の建設時に合わせて総合的な駐車場計画を検討実施してほしい。総合的防災対策を盛り込み、安全で有機的施設併用庁舎の早期完成を望む。

答） 役場本庁舎は、昭和34年の建築以来増築を重ね、老朽化や耐震面での不安、大規模災害発生時の対策本部としての機能欠如、駐車スペースの不足など多くの問題を抱えている。これを解消するには建て替えが必要となっている。住民の利用する施設であり、住民ニーズにあった利用形態を検討し、総合的な防災機能や情報発信機能を備えた住民に親しまれる新庁舎の整備に向けて、適正な規模、機能、位置などの検討を行う必要がある。

この様なことを踏まえ、平成21年度から職員による内部検討委員会を立ち上げて課題の検討を重ねてきた。

本年度については、「阿久比町新庁舎建設基本構想」の中で、皆様のご要望である「安全安心な防災拠点となる新庁舎」や「公共施設の駐車場確保」等の課題を学識経験者、議員及び住民の代表者等と協議・検討していく。

③ 県道草木金沢線の早期拡幅（歩道）をし、草木交差点北の昭和橋から八幡神社まで拡幅して白沢八幡線と結ぶ。

答） 県道草木金沢線の歩道拡幅を行う計画については、今後買収に係る地権者と隣地地権者との調整が付けば、早期に着工できるよう知多建設事務所をお願いしていく。またデンソーの入口までの拡幅のことであれば、この工事が終了後に要望して行きたい。

昭和橋を拡幅し、県道白沢八幡線までを整備する計画については、県道白沢八幡の視距改良工事に係る事業計画がなくなった現在、整備計画を進める予定はない。

関連質問 福池公園前の道路を非常に早いスピードで車が走っている。通学路にもなっており危ない。通り抜け禁止の看板をつけた方がよい。

答） 区長さんと相談させてもらう。

④ 名鉄阿久比駅周辺は一日中混雑し、交通事故の発生しやすい状況にある。緩和に向け、東西両方向からの乗り入れ可能な阿久比駅構想を検討・実施して欲しい。

答） 阿久比駅前については、第5次総合計画の基本構想において、中心商業・業務拠点に位置付け、中心市街地の整備を推進することとしている。特に、駅の西側は町の表玄関として整備してきたが、東側については、農地として利用されており、農振農用地でもある。

この地域を市街化区域に編入し、東方向からの道路整備を行うには、大変高いハードルがあるが、都市計画マスタープランとの整合性も図りつつ、開発手法等について検討していく。

⑤ 町内道路のセンターライン・車線が消えそうな所が最近目立つ。交通安全の観点から見ても、早急にラインを引き直し改善して欲しい。

答） 車線等ラインが消えかかっている箇所が確認できれば、交通安全対策事業としてラインの引き直し工事を実施している。

また、地元の方でそのような箇所を確認した場合は、区長さんを通じて町建設課までお知らせください。県道なら知多建設事務所へ連絡し、町道であれば、現地を確認したうえで対応させてもらう。

⑥ 町長の所信表明にある住民税1%予算枠について。町民の事業をサポートするという、ユニークな事業だが、現在草木地区の町議らと話を温めている所で、第一号として提案したいと考えている。しかしルールがあってやれない、規制があってやれないという、やれない・やらないという話が先に出ると、夢がある住民の希望が遠のいてしまうので町長に頑張ってもらいたい。

15年前草木自然環境型河川再生として、排水のためだけではなく、自然豊かな草木の名前にふさわしい自然環境型の河川が再生できれば素晴らしいと考えている。平成22年に完成した草木川に区民・町民の憩いの場・交流の場・情報交換の場となる施設等が造れないか。具体的に言うと、ハピネスの裏から八幡神社に通る抜け橋ができた草木川脇に自然遊歩道と数か所に屋根付きの休憩所を造りたい。草木川途中に足場を組み、木や竹で季節に合ったやな漁、それに合わせて観覧席・栈敷席を造りたい。最近名鉄寺本駅・新舞子駅から巽ヶ丘駅・阿久比駅に向けて歩いている人も多いので、それとのリンクも含めて、区民の希望するものを自然環境型の河川周辺に敷設したい。

草木の区民が提案した場合、住民1%枠で事業が行うことが可能か回答して欲しい。

答) 今年度はどのような手法で住民からの要望を受け付けるか、提案してもらったものをどこが行うかなど研究中である。今年度中に何とか道筋をつくり来年度から実施したい。色々なアイデアを町内こぞって出していただけるとありがたい。法的な制限はあるが、様々な意見を前向きに検討していきたい。

関連質問 前向きに検討していただけるという回答で希望が持てた。様式や提案方法に従って、意見を出していきたい。15年前に大府市の自然環境型モデルを研修に行ったが、確かに草や藻が多く自然豊かではあったが逆の見方をすると、どぶ川のように、住環境に近い河川としては汚く感じた。自然と整備の関係が難しい。まず構造物を作るとは可能か不可能か回答して欲しい。

答) 草木川の改修も洪水等のため川の流れ、水量が優先して整備されている。意見を否定するわけではないが、現在の草木川の河川改修については流れる水の量を確保することに重点を置いたものである。そのことは理解して欲しい。河川堤・河川に構造物を作るとは法的には禁止されている。阿久比川の河川堤に桜を植えて桜の名所にしようという話が前からあるが、県河川課から河川堤に桜を植えることはできないと言われている。河川堤が川の氾濫を保護するために整備されているので、そこに杭を打ったり、構造物を造ったりすることはできない。

⑦ 循環バスは今の計画では、草木の人はバスはいらないという人もいる。サークルKから美奈川製菓を通るルートにしてもらえれば、県道までは歩いていけるという話がでているので10月までに検討してもらいたい。

答) 現在の予定では、10月1日から試行運行の開始で準備している。ダイヤ、ルートの検討については、検討委員会で現地を確認しながら何度も何度も検討した結果、ダイヤ・ルートを決めてもらった。草木地区では例えば、多賀神社の方まで伸ばして欲しい等の意見も出された。オレンジライン・ブルーラインの2本の予算規模で動いているところであり、1ルート1時間30分、1日6便を予定し試行運行にこぎつけた。実際の試行運行をしながら利用者の方々にアンケート・評価をお願いし改善するところがあれば改善し、町民に親しまれる・愛される循環バスにしていきたいと考えている。今のダイヤ・ルートが全てではなく、今後見直しをしていく。

関連質問 昔、知多バスは西尾知多線を通っていた。草木小学校から公民館に曲がってしまっは、1号、3号の人には片手落ちに感じる。サークルKから美奈川製菓、または逆から草木公民館に抜けるようにして欲しい。

答) 安全な運行をする為に現在考えているのは基本的に左折での運行。例えば右折で西尾知多線に出ようとすると交通量も多くなかなか出られない。また転回する十分なスペースがうまく取れるかという問題も出てくる。また西尾知多線のような幹線道路に停留所を置くことは警察に許可されない。路線バスのように歩道に切り込みがあり、停留しても交通に支障がないような路線バススタイルになれば、話は別だが幹線道路に停留所の設置は至難の業であり、現行のルートとなった。現行の施行計画案がすべてではない。利用者の声もいただき試行運行から停留所の配置・廃止をPDCAサイクルの実行により、より良いものとしていきたい。

関連質問 試行運行は何年、何ヶ月行うのか。

答) 利用者の意見を集約し、データ収集をするのに1・2か月ではできないので、3か月から半年のスパンで考えていきたい。

関連質問 美奈川製菓から西に向かって、道にくぼんだ部分があるのでスペースはとれる。

答) 現行案がすべてではないので、皆さんの声を聞いてより良いものとしていきたい。

関連質問 なんとか10月までにルートの見直しをして欲しい。見直しは3か月から半年でしてもらえるのか。

答) 皆様の意見を集めないと評価できない。

関連質問 区長さん、草木の議員とも現地を見て欲しい。実際の利用者の声が届いていない。話し合いに参加したことは聞いているが地元の声がどれくらいの数かもわからない。ルートを見てがっかりした。

答) こういう意見が出ることは想定内。バスが行かないところの方々はそういう意見がある。バス利用者の意見・停留所の利用状況チェック等を3年間行う。長いと議会でも言われているが、3か月などの短い期間では無理である。半年のスパンで、ルートの見直しは考えている。10月には警察との話し合いの関係で今のルートで走らせるしかない。今後検討をしていくが、阿久比駅でブルー・オレンジラインを乗り継げるように計画しているので片方を変更することはできない。名鉄電車との乗り継ぎ、東浦との接続等色々な意見は出ているがベターな運行を考えていきたい。

関連質問 計画を立てる時に、区長に相談してもらえればよかった。3月の総会のとときに何の連絡・相談も受けていないと言っていた。

答) そのような意見もあるが、23地区が全て集まっていたら大変なことになっていたかもしれない。町としては検討委員会という形で進め、評価委員会に切り替わり今後の皆さんの意見をいただき、検討し、警察と協議を行い進めていく。

⑧ 道直しの件について。材料は貰えるが、工事は自分でやってくれと言われたが自分達で行うとすぐにまた悪くなってしまう。

答) 地元に資材を渡し、お願いしている。道路の全体を補修しないと意味がない箇所については、区長さんを通じて町に要望して欲しい。

⑨ ボランティアで安来節を行っており、ハピネスで練習しているが有料になり困っている。練習場代以外にお金がかかるので安く使えないか。

答) 町内の人で行っているのであれば減免できるかもしれないので、名簿を出して欲しい。(区長)

⑩ 今年度観光協会が発足したが、先日デンソーとの話し合いがあったが、ツツジ、さつき、桜が非常に手入れされており景観がよい。花かつみと一体に観光に活かしてはどうかとデンソーからも提案されたので検討してはどうか。また阿久比川に桜が植えられないことは承知しているが、たとえば彼岸花や水仙等の木ではないものは植えることはできないのか。観光としても生きてくるのでは。

答) 見学コースとして、デンソーの中にも入らせてもらえれば、名鉄でPR広告を作るなど今から考えていける。ツツジ・花かつみが一連の観光ルートになればよいと思う。

阿久比駅のホームから見える阿久比川に彼岸花を植えている。管理できる組織がないと難しい。花を植えることは木と違って可能である。

洪水の時に責任問題が起きるのが心配。彼岸花を植えていることは、県は黙認をしている状態である。観光協会ができたので、観光にデンソーにも協力してもらい、4月から6月まで一連の観光ルートを作るのも一つの手だと考えている。

⑪ 草木の中に荒れた家があり、通学路なので心配である。どうにかできないか。

答) 現在所有者を確認中である。そこから所有者に連絡を取るので少し待つてほしい。

⑫ 石川紡績の寮が壊れ草が生えている。寄附の話があったがどうなったか。

答) 寄附の話はあったが、寄附は受けないこととした。現在も売買がされていなければ石川紡績の持ち物と思われる。

関連質問 かなりひどい状態になっている。子どもの通学路にもなっているののでどうにかならないのか。周辺の路上駐車が多いので町のものとして駐車場として貸したりできないか。

答) 現在は考えていない。現状を一度確認する。

7月15日（金）午後7時～9時 中央公民館本館301号室（坂部、卯之山）

出席者数 町側 12人 地区側 18人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 焼山、八神、姥ヶ谷地区の市街化推進を。（坂部）

答） この地区は、第5次総合計画の土地利用構想では住居ゾーンとしての利用計画である。市街化区域の拡大は、事業予定のある阿久比・卯坂中部土地区画整理事業と阿久比白沢土地区画整理事業の2カ所を整備し、その後に市街化調整区域から市街化区域に編入。市街化区域に編入することは、地権者の全員の同意が必要になるので、意向調整をお願いしたい。

関連質問 地権者全員の意向が固まらないとできないか。他に方法はないのか。

答） 同意がないと、道路をまっすぐにする、土地の区画を成形するといったきれいな設計ができない。

関連質問 同意を取りまとめるのは、地区なのか。それとも町なのか。

答） 区画整理準備委員会が主導。

② 県道名古屋半田線の拡幅工事を早く完成させてほしい。卯坂南信号で南進の右折車により渋滞するため、仮設ガードを外し、2車線化して直進車が通行できるように改善を望む。（坂部）

答） 昨年度の懇談会で、昨年度中に拡幅工事が完了する旨を話したが、現在も完成しておらず、ご迷惑をおかけしている点については、おわびする。用地買収が完了すれば、工事着工するので、もうしばらく辛抱していただきたい。

関連質問 昨年も要望しているので、暫定措置としても仮設ガードレールを外すよう県に提案してほしい。

答） 県にこの提案を伝える。

③ コンポスト購入への補助金を。(坂部)

答) ごみの減量化および有効利用を図るため、平成12年度から生ごみ処理機および家庭用生ごみ処理容器の普及に補助を行なっているので、現在のところ考えていない。

関連質問 半田市では補助をしている。同様に行なわないのか。

答) コンポスト設置のためには、用地が必要などの点もあり、すべての人が設置できるわけではない。そのため、現段階で補助の拡大は考えていない。

④ 坂部台北側砂走川堤防、坂部駅東の阿久比川堤防下部水路の町管理地における草刈り管理を。(坂部)

答) 坂部台北側砂走川堤防は、年2回草刈りを実施している。6月に1回目を実施し、11月頃に2回目を実施予定である。

坂部駅東の阿久比川堤防沿いは、町管理の水路。しかし、町の草刈りについては、主要幹線道路沿いの交通量の多い箇所や小中学校の通学路を重点的に行なっている。町管理地のすべてを草刈りすることは、財政的に困難なので、関係地主の協力をお願いしたい。

関連質問 町で管理できないのなら、県に移転し、県に管理してもらうようにしてはどうか。

答) そのような考えはない。

関連質問 砂走川の堤防は手前だけでなく、奥の方まで刈ってほしい。

答) 11月に対応したい。

⑤ 英比小学校、新保育園建設予定地周辺はハザードマップで浸水予想がされており、水害対策を十分に実施してほしい。(坂部)

答) 英比小学校の校舎は、東海豪雨時に一階部分が床上2センチメートルほど浸水した。対策として、体育館建て替え工事時にキュービクルのかさ上げを行なった。グラウンドや駐車場は、かさ上げ可能だが、使い勝手が悪くなることや近隣民家に影響が出ることが考えられる。また、校舎自体のかさ上げは、事実上困難であると考えている。

保育園建設予定地については、農地をかさ上げし、新保育園のグラウンドの高さを英比小学校運動場と同じ高さにする計画である。新保育園のグラウンドの海拔は、10～11mとなり、津波や浸水には十分対応すると思われる。近隣民家の聞き取り調査したところ、東海豪雨時の状況は、かさ上げ前の農地は浸水したが民家の床下までは浸水していないことが判明している。

⑥ 町道4049号線の道路拡幅工事について、平成13年から毎年申請しているが取り上げてもらえない。(卯之山)

答) 拡幅工事については、一部地権者の建物などの補償を伴う箇所があり、拡幅するための用地の確定や用地買収などを検討していきたいと考えているので、地権者の同意を得るため協力をお願いしたい。

⑦ 坂田川沿いにソーラー電源の防犯灯設置を。(卯之山)

答) 防犯灯設置には、新設基準があり、毎年地区から申請書を5月末日までに提出してもらおう。ソーラー式防犯灯は、予算的にも設置が難しい。しかし、防犯上防犯灯の設置は大変有効なものと考えているので、ポール引き込みタイプなどの設置に向け検討したい。

関連質問 地区から申請といったが、新規造成地なので町全体の問題といえるのではないのか。

答) 地域の区長さんから申請をお願いしたい。

関連質問 中部工業団地の中学校通学路に夜間街路灯が点灯していないのはなぜか。

答) 稲作に影響があるため、時間、季節を限定して点灯している。

関連質問 稲作への影響を調べた資料の提出は受けたか。

答) 根拠となる資料は見えないが、中部土地改良区からの要望と聞いている。

関連質問 坂田川沿いの防犯灯の件だが、特殊な事情といえるのではないか。夜に車で走っているとびっくりすることもある。

答) 先ほども答えたが、ソーラー式については予算的に難しい。しかし、防犯の点から見ても設置するよう努力する。

⑧ 焼山、八神、姥ヶ谷地区と丸の内地区（二反田、四反田、城山下）の市街化区域編入を。（卯之山）

答） 前段の部分は、①で回答済。

丸の内、四反田、城山、城山下地区は、総合計画上の土地利用計画では商業ゾーンとしての利用計画となっている。この地区は市街化編入のほかに農振農用地区域となっているので、①の地区よりさらにハードルが高くなっているが、開発方法などについて検討していくので地権者全員の意向調整をお願いする。

⑨ 卯之山公園テニスコートの整備を。（卯之山）

答） 整備については、地元と協議し、管理方法の見直しを検討していく。

関連質問 整備をしていないから利用が少ないのではないか。

答） テニスコートとして整備するかどうかも含めて地元協議する。

関連質問 地元だけが利用しているわけではない。遊戯施設、遊歩道、フェンスの整備もあわせてお願いしたい。

答） 町で整備すべきは整備する。

⑩ 防災訓練について、津波を想定したものより地震後の火災を想定した訓練をお願いしたい。住宅密集地なので消火栓の設置もお願いしたい。

答） 消火栓を設置するためには、水道管の口径の関係もある。順次体制を整えていく。

8月3日（水）午後7時～午後9時 勤労福祉センター（阿久比、棕岡）

出席者数 町側 11人 地区側 22人

町長 あいさつ

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 南部学区の住民や近隣の人たちの利便のため、前田川堤の両側を車道にして往復できるようにしたら。阿久比川堤から岩滑地内を通り植大に出る道も同じ。（阿久比）

答） 道路として利用するためには、道路認定が必要となる。前田川の左岸堤である前田橋から万栄橋の間は町道認定されているが、右岸堤は認定していない。

また、万栄橋は幅員が4.5mあり、現在の道路認定幅は4.2mあるため道路幅員に合った橋の幅となっている。前田川の両岸を道路として利用するためには、新たに橋梁を設置する必要がある。現在の道路認定や橋の状況からご理解をお願いしたい。

関連質問 道路認定できないのは、幅員が狭いためか、予算がないためか。

答） 道路認定するには、幅員が最低4m以上必要であり、道路として耐えられる構造になっている必要がある。行き止まりでは認定できない。両側を利用しようとする、どこかで新たに橋梁を設置する必要がある、大変多額の費用が必要となる。

② 県道名古屋半田線の卯之山地区で1軒だけ道路の中にある家の今後の見通しは。（阿久比）

答） 坂部地内のピアゴ南側に1箇所、卯之山地内に1箇所用地買収ができていないところがある。坂部地内は、代替用地の確保が得られており、価格の交渉に入っている。用地買収が完了すれば、歩道設置の工事を今年度中にも終了することがでる。

卯之山地区の県道名古屋半田線は、現在、地主と用地交渉中。早期に用地買収できるように県、町、地元の町議、区長で働きかけを行っている。

関連質問 用地買収が難航することは、最初から分かって始めたのか。県が行っていると思うが、私たちから見ると大変不便であり、物凄く経費がかかっているのではないか。また、その経費は阿久比町で負担しなければいけないのではないか。最初からわかっていたら、そこから検討すべきではなかったのか。

答） 計画当初から、県道の東側を拡幅する予定になっており、1軒のみが協力をい

ただけないという状態であり、これからも努力していく。

関連質問 今現在、どのくらい進展しているのか。

答) 県からも、再三お願いをしているが応じてもらえない。一度、契約書に判を押してくれる話になったが、そのとき本人が来てもらうことができなかった。

③ 土木維持補修に関して、勝手に工事が終わっている場合があり、地元の意向と相違することがあるため、施工方法の確認あるいは連絡をお願いしたい。(阿久比)

答) 土木維持補修工事については、地元よりの要望に基づいて、町が現場を確認し、予算措置ができた箇所については行政協力員会において、地元の区長さんに文書でその内容を連絡している。今後は土木維持補修工事の詳細内容について、十分な説明をさせて頂く。

関連質問 今年から変わっているか。私が、区長になってから、役場に呼ばれることが多くなったので、対応してもらっていると解釈していいのか。

答) 意思疎通ができるように、十分に連絡を取る。特に地元の説明をよくしてから工事するようにしている。

④ 役場から棕岡間の県道が夜間暗く、街路灯整備を望む。(阿久比)

答) 県道の役場から棕岡までの間においては、県道に道路照明灯が設置されている。知多建設事務所に確認をしたところ、この照明灯は、道路構造令等により設置してあるので、増やすことはできない。

関連質問 物凄く暗いと女性から指摘があった。ゲンキーからユーハウスまでの間に街路灯がなく、ゲオの開店中は明るいが閉店してしまうと真っ暗。去年、女性が車に追いかけられることがあった。

答) 道路照明は、基本的に交差点を中心に設置している。全ての道路を照らすだけの基準にはなっていない。

関連質問 県道だからといって、県に言わなくても阿久比町として何か対策はできないか。

答) 私が歩いたところ明るい地域だなというのが実感。家屋の照明やマンションの

明かりが夜11時・11時半にも光っており、店舗の照明等もあって結構明るいという感じを受けた。他地域では、防犯灯のないところもある。年間30基という制限があり、他地区で必要ではないかという感じを受けた。

関連 女性の方からこういった話が出ると、字として何もしないわけにいかない。男性と女性の感じ方は、場合によっては違うのではないか。基本的に店舗の明かりを期待するのではなく、防犯灯はそういう性格のものではないのでは。(要望のみ)

⑤ ゴミ出しのマナーの悪さ、カラス、猫の被害を見うける。地区でも回覧、立ち番等行っているが限界がある。常日頃の役場からの積極的な広報を望む。(阿久比)

答) 排出方法のマナーについて、広報・回覧及びLED電光掲示板での周知、またステーションに看板を設置するなど啓発に努めていく。

関連質問 今回の広報でも案内が出ているのを確認しましたが、本当にマナーの悪い人は数パーセントだと思われる。しかし、その人たちに如何に告知するかというのが決めてだと思いう。広報にインパクトのあるものをお願いしたい。(阿久比)

答) 阿久比神社の前のゴミステーションを実際に見てきたが、看板が設置してある。また、毎年チラシを全戸配布している。やれることはやっているつもりであり、ご協力をお願いしたい。

関連質問 アルミ缶・ダンボール・新聞紙の盗難に遭い、野放し状態になっている。これは、阿久比だけでなく他の市町でも同じようなことが起こっていると思う。何か具体的ないい手立てはないか。資源ゴミの売り上げや町からの補助は、字の資金源になっているので色々な行事を行うために大切。具体的な対策をお願いしたい。

答) 近隣市町を研究する。

⑥ 十ヶ川の浚渫のお願いを町から県へ要望してほしい。(棕岡)

答) 阿久比郵便局の北側の十ヶ川を確認したところ、オアシス大橋付近から棕岡地内前田川除塵機付近まで土砂が堆積しているのを確認した。このため、写真付で知多建設事務所へ浚渫の要望を出してきた。

関連質問 実現の可能性はあるのか。いつ頃、回答があるのか。

答) いつまでにという回答は得られなかった。その都度要望していく。

関連質問 回答がありましたら、早急に大字へ連絡してほしい。(要望のみ)

⑦ 避難場所、中部公民館の防災施設としての位置づけと機能強化を町はどのように考えているのか。(棕岡)

答) 中部公民館の防災施設としての位置づけ及び機能強化については、阿久比町地域防災計画の中で避難所に指定されており、平成9年度に実施した耐震診断の結果は、耐震性に問題はないとのことである。

関連質問 長期避難者が発生した場合に、公民館の中で生活するには機能が不十分。例えば、冷房などが不十分。一時的な避難所ではなく長期となる想定はしているのか。

答) 町内には屋内避難所が22ヶ所あり、避難生活に支障が出た場合は他の避難所へ移っていただきたい。

関連質問 大きな災害があった場合は、町からの各地区への支援体制はどうなっているのか。例えば、町の職員が各地区に派遣されてくるような仕組みはあるのか。

答) 避難所の設営や水道の復旧に人員を割かれることや職員自身の被災も考えられるため、各地区への派遣は難しい。ただ、仕組みとしては、地域防災計画の中にマニュアルとして表示されている。

関連質問 被害の状況を把握するために職員がどこに配置されるか想定されているか。

答) おそらく町の職員は、町の業務で手一杯。マニュアルには、各地区への支援体制はあるが、職員全員出てきたとして180名。各地区の連絡をするために、外部へ必要な職員が50名。内部での業務をする職員も必要となるため、実際に支援は難しい。また、災害対策本部を設置しても各地区の状況を把握できなければ指示が出せないため、連絡係としての職員だけで、各地区を支援する職員はおそらく出せない。

関連質問 町の職員だけでは大変だと思うが、その限られた人数でやりくりする訓練や体制づくりが必要ではないか。

答) 各担当課では、何をするかというマニュアルは作ってあるので、人員が確保できれば、かなりのことが行えると考えている。しかし、被害の状況によって町としての対応が変わってくるため、努力はするがみなさんの期待するほどのことができない場合も想定される。地域の皆さんの力を貸していただきたい。

関連質問 物質的な機能の整備、例えば、簡易トイレや水槽などの設置の計画はあるのか。計画があるのであれば、それを踏まえて自主防災会として機能を充実していきたいと考えている。

答) 避難所に直接有事における資材は備蓄していない。しかし、防災倉庫に徐々に整備はしている。町の補助もあるので、地区では少しずつ資材の整備を進めてもらいたい。

関連質問 防災無線のマイクが外にあるので、雨天時は外で放送できない。公民館の中で放送できるようにならないか。地区の中で防災無線が聞こえないところがある。

答) 他地区での屋内設置の事例は聞いてない。聞こえる範囲の調査や地区からの聞き取りをして現地調査をして対応している。

関連質問 防災無線を公民館の中で行えるようにしてもらいたい。(要望のみ)

⑧ 棕岡踏切周辺と桜屋(G S)前のマンホールの排水対策で町はごみ詰まりとのことだったが、その後の対策は。(棕岡)

答) 昨年度は、マンホールの入口が詰まらないように町独自で格子を設置した。その結果、ごみが詰まって隣のディーラーに、水が乗りこぼれそうになった。そのため、柵は撤去した。今のところ、問題の解決には至っていない。この水路は、県道と名鉄の線路の下を通っているので、ごみが詰まらないように口径を大きくする工事は費用の問題でできない。今後は、雨が降ったら建設課の職員が点検に行く。

関連質問 マンホールから水が溢れたら町へ連絡したらいいのか。暗渠になる前に水路を分散できないか。踏切を渡る歩行者にも危険が及んでいる。

答) 上流部分を分散しても、結局県道と名鉄の線路の下を通ることになるので、なかなか難しいが研究してみる。

⑨ さくらや呉服店前の三差路の信号機設置要望を平成16年に町から警察(公安委員会)へ要望を出しているようだが、地区が要望を出しても設置可能か。(棕岡)

答) 平成22年11月に半田警察署・知多建設事務所・防災交通課・建設課による合同パトロールを実施した。現地確認の結果については、交差点が変則4差路であり名鉄の踏切との距離が短く渋滞が予測されるため信号機の設置は難しいとのことだが、

継続的に要望活動を行っていききたい。今年度も申請していただければ再度半田警察署を通じて公安委員会へ要望していききたい。

関連質問 十ヶ川の浚渫の問題にしても、字からの申請や申し入れなく県や町の自主的な見回りで浚渫することはないのか。

答) 十ヶ川は、県が管理することになっているので、要望しなとなかなかやってもらえない。今のところ、字からの要望を県へ出す構造は変わっていない。

関連質問 2年位前に前の県会議員から、数年後に信号機の設置がされると聞いたが町長は聞いてないのか。

答) 全く、聞いていない。

⑩ 板山の配水池は、いつ完成するのか。また、この配水池の水はどこに送るのか。(阿久比)

答) 来年の3月15日に完成。東部地区に送る。

⑪ 高根湿地は、もう少しPRしてはどうか。もう少し見学する人員を増やし皆さんに知ってもらうことはできないか。湿地は借地なのか。(阿久比)

答) たくさんの方が見学者が訪れると自然のバランスが崩れる心配があり、バランスを取りながらPRをしていきたい。町有地ではなく借地。

⑫ 循環バスが始まると、高齢者向けのタクシー券がなくなると聞いたが本当か。(棕岡)

答) タクシー券は、高齢者タクシー料金助成事業により配布している。来年度も実施予定だが、今後の循環バスの利用状況をみて枚数の制限がかかるかもしれない。

⑬ 阿久比郵便局からアピタへ抜ける道の東側に水路がある。その水路は、県道を潜って北へ抜けている。その水路の北側のところにすごく草が生える場所があり、町に苗木を植えたいと話したらそこは県の管轄と言われた。そこは県の管轄ではないと思うが。そこに苗木を植えていいのか。(棕岡)

答) 場所の確定ができないので、建設課に詳しく教えてほしい。

7月20日（水）午後7時～午後9時 高岡（矢口、高岡）

出席者数 町側 12人 地区側 21人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 矢口西方で野犬（5～6頭）の群れがいる。人的被害が心配であり対策をお願いしたい。（矢口）

答） 矢口西方地域には、昨年11月から、愛知県動物保護管理センター知多支所と協力して、檻を順次設置している。現在、大字矢高地内に3カ所に設置しており、週1回愛知県動物保護管理センター職員が巡回している。

今年5月に2頭、6月に1頭の計3頭の捕獲ができた。現在、町内6カ所に檻を設置しており、今後も愛知県動物保護管理センターと連携して、野犬の捕獲をしていきたい。

② 矢口西方でカラスによる農作物への被害などがでており何らかの対策をお願いしたい。（矢口）

答） 毎年3月に農作物の被害防止等のため、散弾銃による駆除を猟友会に委託している。今年は79羽のカラスを駆除した。安全確保のため、実施できる地域は周囲に民家・事業所・学校等のない、山林や農地に限定される。実施時期や回数の見直しについては検討していきたいが、農家の皆さんも農作物被害を軽減するため、防鳥ネット等を活用して、自己防衛につとめていただきたい。

関連質問 カラスが最近増えたかどうか把握しているか。

答） 数は把握していない。区画整理や土地改良の結果、山に住んでいたカラスが出てきたのではないかな。

関連質問 アグメントの生ごみ処理施設ができてから寄ってくる。防臭対策は取られていたが、空気中に臭いが漂い、臭いにつられてカラスが寄ってくる。町で指導してほしい。

答） 昨年、区からの要望を受け、区長、区役員の方などとアグメントを視察した。今年も要望があれば調整する。

③ 丸新脇の交差点に高岡出口の信号機と連動する信号機を設置してほしい。(矢口)

答) 昨年地区からの要望書を受け、半田警察署に阿久比町から要望書を提出した。結果は、角前田交差点との距離が近く、交通渋滞の原因になる可能性と、昼間の東西道路の交通量が少ないため現段階では信号機を設置することは非常に困難とのことだった。町としては、今年度も地区からの要望書を受け、半田警察署を通じて公安委員会へ要望していきたい。

関連 信号が近くても連動する信号なら、あまり渋滞にもならないと思うので、引き続き要望をしていってほしい。(要望のみ)

④ 東日本大震災の想定外災害を受け、町として東海東南海地震に対する防災対策の見直し状況は。(矢口)

答) 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード8.0級、津波の高さは名古屋で2.54メートルと予測されている。現在、国の中央防災会議は、3連動地震の想定見直しを進めている。

愛知県防災計画と、阿久比町防災計画は、連動させているため、国・県の見直しに続いて愛知県と連絡を密にし、防災計画の見直しを進めていく。

災害の被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが、災害対応力を高め、連携することが大切である。地域防災活動の重要性が認識される中、今年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施することを考えている。7月23日土曜日に自主防災会研修会を開催し、地域防災活動に積極的に取り組んでいる半田市岩滑地区の方に活動報告として、約1時間の講演を行う予定である。研修会に出席し、地区での自主防災会のあり方を再度確認し、阿久比町との連携を確立してほしい。

⑤ 東浦町が市に移行すると周辺に町がなくなり孤立感がある。(矢口)

答) 東浦町が東浦市に移行することで、阿久比町の状況が激変するということはない。これまでどおり、知多市町会において広域的な連携、協力を図っていきたい。

⑥ 区民高齢者の緊急避難場所の確保を。悪天候の中、勤労福祉センターまでの避難経路は大変危険である。防災マップ(津波想定)を至急準備してほしい。(高岡)

答) 高岡老人憩の家周辺が土砂災害防止法の規定により、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、阿久比町避難所の指定を解除し、勤労福祉センターが避難所となっている。高岡老人憩の家が変わる避難場所を探しているが適地が見つかっていない。引き続き検討していく。

阿久比町防災マップを発行しているが、今後、海拔を表示した等高線入りのマップを作成していく。

関連質問 災害時に、山や崖などの危険なところを高齢者や要支援者を連れて勤労福祉センターまで行くことはできない。安全な県道南側の田んぼや土手の方に行くことを検討しないといけないが、避難場所がない。高岡老人憩の家に変わる避難場所を検討してもらいたい。町で担当課、責任者を設けて定期的に話し合いをしたい。

答) 避難所に関することは防災交通課が窓口になる。勤労福祉センターが最寄の避難所にはなっているが、近くに一時避難所候補地をご提案していただければ検討したい。

関連質問 防災交通課が窓口ということなので、定期的に意見交換をしていきたい。避難所は、海拔何メートルにあるのか。

答) マップが出来次第お伝えする。

関連 避難所を解除されたようなところを台風の翌日に会場にするのは配慮に欠けているのではないか。(要望のみ)

⑦ 南部宅老所（高岡老人憩の家）の安全な場所への早期移転をしてほしい（高岡）。

答) 高岡老人憩の家を利用して南部宅老所を開設している。高岡老人憩の家北側周辺は、平成 21 年 8 月に土砂災害特別警戒区域に指定されたため、この区域内での特定開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われている。

通常時の利用には、問題はないと考えているが、台風の接近等で大雨が予想される場合、利用を中止するようにボランティアの代表者をお願いをしている。利用中に大雨警報が発令されると予想される場合も、利用者の方に帰宅するようボランティアの代表者をお願いしている。現在、利便性も考えいろいろ候補地を模索しているが、候補地があれば、役場保険課へ情報提供してほしい。今後、関係区長へ宅老所移転受入等の意見を伺う機会を設けたいと考えている。

関連質問 風水害は事前にわかるが、地震がきたらどうするか考えないといけない。避難所とあわせて県道の南側などがいいのではないかと。町で担当課、責任者を設けて定期的に話し合いをしたい。

答) 宅老所に関しては保険課が窓口となる。

⑧ 県道南粕谷半田線の側溝上の走行による騒音防止の補修工事、歩道の設置等、生活道路として安心安全に利用できる整備をしてほしい。県に引き続き強く要望してほしい。(高岡)

答) 県道側溝の蓋の上を車が通行するとき、音がする 3 カ所については、知多建設事務所へ改善工事の要望をしていく。

県道南粕谷半田線は、幅員が狭いために、車両の摩り替わりがスムーズできない状況になっている。道路に隣接する土地所有者で、土地の提供をしてくれる方がいれば、待避所として整備できるよう県へ働きかけをしていく。

関連質問 拡幅する土地がどこの土地かわからなく、地区の方で土地の確保は難しい。町で担当課、責任者を設けて定期的に話し合いをしたい。

答) 建設課で対応していく。土地を買うときは、地元のほうで地主に協力をしてもらうことが前提となることは理解してほしい。

⑨ 町道 5305 号線の徳吉橋～梶明橋間に防護柵を設置してほしい。(高岡)

答) 今年度の工事内容は、舗装工事を予定しているため、防護柵の設置予定はない。舗装工事完了後、道路の利用状況等を判断しながら防護柵の設置の必要性を判断したい。

関連質問 アピタ側の県道の出口で、垣根で視界が悪く、一時停止などの対応を取らないと事故の危険性がある。一度確認してほしい。

答) 通学路の安全性確保として柵を設置してきた。今後、状況を見て課題があれば検討していく。

関連質問 通学路ではないが、便利になるため利用する人は多くなるのではないか。通行頻度が高ければ検討してほしい。

答) また状況を教えてほしい。

関連質問 通学路の犬等の糞公害がひどく、看板等も効果がない。環境衛生課で対策を考えてほしい。(要望)

⑩ 巡回バスの試行で、幹線道路のみの運行では高齢者の利用に即したのではなく、各地区ごとの公民館に乗降場所設置してほしい。(高岡)

答) 高岡老人憩の家への循環バスの運行も検討したが、バスを転回させる場所の確保が難しく、限られたダイヤ、台数のため、試行運行計画では見送った。試行運行しながら、利用者アンケートやヒアリングを実施し、町民の意見・要望を聞きながらルートやダイヤの評価、見直しを実施していきたい。

関連質問 利用客を増やすためにも、公民館など字の中に入らないと意味がないのではないか。高齢者が入口まで出て行くとは思えない。循環バスの分をタクシー助成に上乗せしてもいいのではないか。試行運行の結果では、やめることも考えないといけない。

答) 現在の予算で、2台のバスを走らせることができる。阿久比駅を中心に南北2ルートで運行し、阿久比駅で乗り換え出来るようにすると、1時間半かける今のルートで限界である。警察の許可が厳しく、細い道など入れないところもある。高岡老人憩の家は、許可がおりず、循環バスが入ってくることはできない。3年間の試行運行でいろいろ試し、町民の方で組織する評価委員会で意見を出し合いながら、検討していく。

⑪ 阿久比駅のバリアフリー化のため、エレベーターと障害者対応トイレの整備を名鉄に要望してほしい。(高岡)

答) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が、平成18年6月21日に公布され、同法第2条第6号に規定される1日当たりの平均的な利用者の人数の見込が5,000人以上である場合は、特定旅客施設と規定された。

同法第3条には、国の基本方針に関する規定が設けられ、平成18年12月15日告示で、移動等円滑化の促進に関する基本方針が示され、新駅を設置する場合において、1日当たりの平均的な利用者数が、5,000人以上である鉄道駅については、5メートル以上の段差解消のために、エレベーター又はエスカレーターの設置を、平成22年までに鉄道事業者が100%実施することとされ、国も単体補助制度があった。

しかし、既存の駅の設置については、努力目標とされ、平均的な利用数が5,000人以下の駅については、エレベーター等の設置はされずに現在に至っている。

平成22年度の阿久比駅の乗車人員を確認したところ、931,581人で1日平均乗降人員が5,140人となっているので、国の補助制度はなくなっている状況ではあるが、エレベーター等の設置ができないか、要望していきたい。

⑫ 東日本災害復興支援で派遣された職員の体験談などの情報を講演や広報で知らせしてほしい。(矢口)

答) 派遣された職員の活動報告を2回にわたり広報紙へ掲載した。

⑬ 事前にまちづくり懇談会の持ち方について検討した方がいいのではと要望したが、改善しようとする意識が伝わってこない。懇談会は 23 会場の開催は無理なのか。時間的に厳しいならば、2 回ぐらい中央公民館で町全体を対象に開催し、町民の意見を聞く場を設けてはどうか。

第 5 次総合計画の概要版を全戸配布したことの意味合い、編集された内容の狙いがわからない。配布して満足をしていないか。総合計画の費用対効果について、どう考えているか。

町長の所信表明などで、「経営」という言葉が使われているが、「経営」が生かされた行政運営は具体的に何があるか。

観光協会と商工会の連携が重要だと思う。知多半島 5 市 5 町のなかで、何をやっていくのか、作っておかないといけないから作ったようになっていないか。

総合計画の中で人口の成果目標があるが、本当に達成でき、全ての成果目標が達成できたら阿久比町が誇れるまちになるのか考えると疑問で、いい加減に定められているように思える数字がある。成果目標が総合計画に書かれている意味合いは何か。

大府市と東浦町でウェルネスバレー構想が発表されたが、阿久比町の将来を見据えた構想が見えてこない。

庁舎建設検討委員会と介護保険事業計画老人福祉策定委員会の委員の公募をしているが、前回も立候補した、厄介なやつが来たという扱いでだめだった。もっと広く誰でも参加できる雰囲気作りをしてほしい。(高岡)

答) まちづくり懇談会は、まちづくりをする上で話し合いをする場である。最初は、要望を聞くだけだったが、前半部分に町からの発信を行うようにした。会場も要望を受け 9 会場から 10 会場にした。決して、意見を聞かなくてやっているわけではなく、改善できるところは改善している。台風の接近などにより状況に応じて、昨日は阿久比地区を延期し、この会場も午前中に幹部で確認に来ている。

総合計画については、職員はしっかり作ったと思う。決して町長のアピールではない。土地利用の問題や人口構成の変化を把握しないとまちづくりはできない。全国的に人口が減少しているなかで、阿久比町は、全国的にみてもかなりの率で伸びている。現在の世帯数、人口から見てもクリアできる数値を専門家も交えて作った。そういうなかで、阿久比町が財政規模をどの程度にし、どうしていくかが経営である。平成 14 年に受け継いだ貯金は、3 期目の今回でもそれ以上を残している。残しながら町民の生活水準はさげないようにしてきた。経営感覚を職員にも植え付けるようにし、財政の健全化を経営の第一としてきた。

広域行政について、平成合併も終わり、各市町は現在の体制維持する方向で考えている。5 町では月に一回会合をしている。それ以外でも会って話し合っている。現在も長良川河口堰の問題で、5 市 5 町連名で飲み水確保の陳情書・要望書を出していくよう話しをしている。観光協会についても、各市町単独ではなく、広域行政で動いていか

ないといけない。平成の大合併も終わり、合併は今後、国が道州制をやるならば、その時になると思う。道州制では 30 万人以上の都市が必要となる。知多郡は 62 万人いるため、全体で力を持ったほうが豊田や岡崎など大きなところとも渡り合えると思っている。

観光振興については、商工会だけではなく、阿久比町では、花かつみや菊、ホテルなどや農業を入れていかないと観光はできない。商業では製菓が多い。商工会と話し合いながら製菓以外の分野にも力を入れていかないといけない。工業も工業団地の中で産業観光ができないか提案していきたい。

庁舎建設についても、一般の方の募集をしているところなので、応募してもらいたい。

他市町との交流も多く、いいところは取り入れていきたい。精一杯努力をしていくのでご意見等をいただきたい。

⑭ 台風 6 号で暴風警報が発令されたら、小中学校は下校するように文書が出ていたが、何故警報が出ている危険なときに下校させるのか。(高岡)

答) 阿久比町では暴風警報は出なかったなので、校長判断で下校をさせた。台風は時間の経過と共に近づくので、暴風警報が出てから下校させるのではなく、経過状況をみて安全な時、雨が少ない時に下校させるようにしている。家にいる場合は、警報が出てれば待機させるよう指導をしている。

7月22日（金）午後7時～午後9時 大古根公民館（植、大古根）

出席者数 町側 12人 地区側 42人

町長 （あいさつ、町政報告）

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館参照）

提言・要望など

① 循環バスの試行運行計画に植地区への運行がないのはどうしてか。（植）

答） 植地区は、道路幅員の狭い道が多く、バスと一般の車がすれ違いをしたり、転回する十分な広さが確保できないため、試行運行では、アピタ、大野崎までの運行となる。利用者アンケートやヒヤリングを実施し、ご要望や意見を聞きながらルートやダイヤの評価を行い、見直しを実施していく。

関連質問 大古根地区のように沿道に近い人は便利だが、植は、高低差があり、歩く距離も長くなる。高齢者にとっては利用しづらく、高齢者が利用しやすい方向で見直してほしい。植の消防団詰所あたりに停留所を設置してほしい。

答） 消防団詰所まで当初は考えていたが、植地区は道幅が狭く、車両制限令により道路幅員が5.5m以上必要となる。町の看板を背負っているハイエースコンピューターでは制限を超えるルートは選定できない。道路状況が変われば変更もある。試行運行計画の中で皆さまの意見を聴きながら町民の方に愛される、より良い循環バスにしていきたい。

② なかの池周辺を堤体改修等に合わせ、親水公園化する計画のその後は。（植）

答） 西狐谷池は、平成21年度に改修工事に着手し今年度で工事完了予定である。この改修工事は、地元からの要望に基づき、洪水による被害を未然に防止する目的で実施されたものである。平成18年度からの都市計画マスタープランや第5次総合計画において、緑地保全地区の位置づけをしているが、具体的な計画は決まっていない。

③ 東海等地震による津波被害の想定は。①被害地域をどの程度想定しているか。②避難場所の確保は南部小で足りるか。③避難する場合海拔どの高さまで逃げればよいかマップの用意は。避難経路の確保は検討しているか。（植）

答） 30年以内に87%の確率で起きると予測される東海地震は、マグニチュード8級と予測され、津波の高さは、名古屋で2.54mと言われている。また、国の中

央防災会議は、現在3連動地震の想定見直しを進めている段階である。国・県の防災計画の見直しに続いて愛知県と連絡を密にし、防災計画の見直しを行っていく。想定にこだわらず、まず逃げることを考えて行動して頂きたい。避難経路など地区の状況は地区が良く知っている。本年度の防災訓練は、各地区単位で考えた訓練を実施していきたい。7月23日に自主防災会研修会を開催し、半田市岩滑地区の方に講演を行っていただく。研修会に出席して地区での自主防災会のあり方を再度確認していただき、町との連携を確立していきたい。

町防災マップの洪水ハザードマップには、阿久比川・十ヶ川流域浸水予想区域を示しているが、想定にこだわらず、まず高台に逃げることを考えてほしい。今後は等高線を入れたマップを充実したい。愛知県での被害想定では、町の避難見込み者数は4,350人となっており、町の指定屋内避難所22施設の収容可能人員は4,800人で現段階では足りている。

④ 新庁舎建設について ①建設地の想定地は。 ②新庁舎の規模は。入居はどこを予定しているか。③町の将来人口は。職員数、管理費用等どうするか。④町発展の中心と位置付ける予定は。⑤震災に対する対応は。(植)

答) 庁舎建設候補地としては、現在所有する町有地の中から最適地を選定する。

規模は、将来の人口、職員数を考慮して適正な規模を検討する。現在庁舎以外にある課等は、必要に応じ新庁舎へ配置換えを検討する。

平成32年度の将来人口を2万8千人と見込んでおり、その後は人口が減少する時代となる。職員数は、現在の職員数を基本とする。庁舎管理費用等については、機能性・効率性・合理性を踏まえた建設に努め、長寿命化、維持管理の効率性などを踏まえた建設を検討する予定である。公共施設の建設に係る事業手法としては、近年PFI方式をはじめ民間活力導入型の手法が取り入れられてきている。新庁舎建設において最も有効な事業手法を選択する必要がある。

東日本大震災を踏まえ、新庁舎建設にあっては、災害時にも対応できる防災・災害復興拠点施設とし、また避難所としての機能を持たせた施設を検討する予定である。周辺施設との関係では、半田消防署阿久比支署、中央公民館、中学校等の施設と連携を図り防災機能を高めていきたい。

新庁舎整備の基本方針として、防災・災害復興拠点施設として十分な耐震性と安全性を確保し、全ての町民、誰もが安心して利用しやすい庁舎を目標に内部検討委員会で原案を作成している。

⑤ 野犬の実態調査と対応を。矢勝川サイクリングロードの草刈り回数増を県に要望を。(植)

答) この地区への対応は、2月頃より愛知県動物保護管理センターと協力し、鶴弥

の工場内に檻を1基、6月に西狐谷池付近に1基設置した。矢口地区において、5月と6月で3頭捕獲している。現在町内6カ所に檻を設置している。動物保護管理センターの職員が毎週檻の管理と巡回をしている。

矢勝川サイクリングロードの草刈りについては、知多建設事務所に県道部分も含め要望した。河川堤防の草刈は、年1回実施しており、回数を増やすことは難しいとの回答であった。半田市側の堤防では、地域住民の協力で全体的に手入れされていると聞いている。

関連質問 野犬の檻で、子供や住民に被害が出ることはないか。西狐谷池付近で設置されており、親子で散歩する人が多い。危険であると広報する必要があるのでは。

答) けがはないと思うが、注意するよう回覧板で広報する。

関連質問 サイクリングロードの目的からして、年1回の草刈では少ないと思うが。

答) 地元の協力で、草が覆いかぶさっている部分の草刈りをお願いしたい。

⑥ 植大駅前の駐輪場の整備をして欲しい。(大古根)

答) 名鉄に再度確認した結果、名鉄としては駐輪場を整備する計画はないが、町が整備する場合は協議に応じるとのこと。町として今すぐ整備する計画はないが、利用者のマナー向上のため啓発活動を行う。また、駐輪場スペースの拡大などを含め名鉄に協議していきたい。

関連質問 百台以上の自転車があり、道にはみ出している。車も数台駐車しているため、人も通り難い。駅西に駐輪場ができそうなスペースもあり整備してほしい。

答) 北側に名鉄の所有地があり、名鉄に了解を得て道にはみ出さないだけの駐輪スペースを確保していきたいと思っている。地域の方の協力もお願いしたい。

⑦ 県道交差点（榊原農材前）に押しボタン式信号を設置してほしい。(大古根)

答) 昨年11月半田警察署・知多建設事務所・防災交通課・建設課で合同パトロールを実施した。その結果、信号機と信号機の距離が近いと設置は非常に難しく、児童は植大駅西の交差点で渡るようにとの回答を受けた。要望活動は継続的に行っていきたい。

⑧ 駅前方面から南部小に通う児童は、植大駅西信号から南部小に通っている。車の

通行量が多く危険である。新たな交通安全対策を講じるかコース変更を。(大古根)

答) 新たなコースとしては、エノモト理髪店の横断歩道を渡り郷中を抜けていくコース、アピタ西の交差点を渡るコースが考えられる。どちらも回り道となり距離が長くなるため現在のコースとしている。安全対策として、毎年実施している交通安全教室などを通じて、登下校時には一列縦隊で歩行するよう指導している。

関連質問 現在の通学路で、道路の北側の白線が消えかかっている。ラインを引き直してほしい。また、帰りは左側通行で帰る。本来は右側ではないのか。

答) 通学路でどこが一番安全で良いのか、教職員とPTAが協議して学校が判断することであり、学校に話をして検討させる。

道路の白線については今年度中に引かせるよう指示する。

⑨ 青色パトロールカーの利用手続きを簡素化してほしい。

答) 自主防犯パトロールに使用する自動車に、青色回転灯を装着してのパトロール活動は、愛知県警察本部長に申請する必要がある。警察が指定する手続きに従う必要があり、町で簡素化をすることはできない。

関連質問 月に4回以上計画しなければだめとなっている。宝の持ち腐れでありおかしい。

答) 警察からの指示は月に4回以上となっている。

関連質問 南部小学区での使用状況はどうなっているのか。

答) 自主防犯パトロールを行っている地区は、町で14地区ある。その内9地区で青色パトを使っている。植は、毎週金曜日実施しており、月に4回以上使用している。できるだけ多くの利用をお願いしたい。

⑩ リビオ植大地内の児童公園を整備してほしい。

答) リビオ植大内の開発に関しては、すでに完了している公園緑地の面積と今後予定されている面積を合わせると全体開発面積の5.34パーセントになっている。県の開発基準では、合計面積として開発面積の3パーセント以上となっており、どこに、何㎡の児童公園を設置しなさいという基準にはなっていない。地元からの要望は伝えてあるが、開発基準以上のものは、地元から直接開発業者へ書面要望をお願いしたい。

関連質問 業者の方へ地元からこういう要望があることを役場窓口からやんわり伝えてほしい。

答) 窓口で地元から要望がすることは、口頭で伝えてある。

関連質問 いまのリビオ内の公園は狭い。児童公園は大切であるという考えを持って、幼児子供たちへの対策を取ってほしい。それが町を愛する気持ちとなる。(要望のみ)

⑪ ガーデンコーポA・B棟のそばにゴミステーションがあり、その近くに深めの側溝があり危険である。蓋等をしてもらえないか。

答) 業者に電話をした。この1～2週間内に鉄製金具やトラロープで危険でないような措置を取ってもらうよう頼んである。

関連質問 今のガーデンコーポの西に老朽化したブロック塀がある。危険であり除去等してもらえないか。

答) 業者に強く言っている。除去することは約束してもらっている。歩道部分の拡張も含めて話はついている。

⑫ 植公園グラウンドのフェンスの支柱が腐食している。昨年町へ申請したが応急手当のみ。今年も申請したが、フェンス全体の強度を確認し、補修してほしい。

答) 一生懸命頑張るのでよろしくをお願いしたい。

⑬ 長良川開門に反対したいと町長は言った。阿久比は以前、木曽川の水を利用していた。工業用水は木曽川の水を使用しているが、水道水もきれいな木曽川の水に戻してほしい。

答) かつて長良川河口堰を造るまでの暫定措置として木曽川の工業用水を利用した。開門に反対しているわけではない。開門することにより知多半島の水の確保ができなくなる。水は命である。知多半島に住む人の水の確保ということで、知多5市5町の市長町長で知事に陳情を出すことが決まった。水質検査では、長良川の水は木曽川と同等で全国上位にある。かつて水の量の確保ができなかったから、長良川河口堰を造った。水は命であると強く知事に訴えていく。

⑭ 県道東側の側溝に土砂が堆積しているので取ってほしい。場所は、薬師堂の辺り

と新美電気の辺り。

答) そのようにさせていただく。